

平成 21 年度 決算に係る

定期監査調査
決算審査

平成 22 年 7 月

農林水産部 生産振興課

1	前年度指摘事項等に対する措置等.....	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況.....	1頁
3	組織及び業務調べ.....	1頁
4	職員の定員、現員調べ.....	2頁
5	役付職員の調べ.....	2頁
6	主な事業に関する調べ.....	3頁 ~13頁
7	決算調書(総括表).....	14頁
8	事業別実施状況調べ.....	15頁 ~23頁
9	予備費の充用調べ.....	24頁
10	繰越関係調べ.....	25頁
	(1) 繼続費過去繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ.....	26頁
12	収入事務処理状況調べ.....	27頁 ~28頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
13	税外収入未済額調べ.....	29頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ.....	30頁
15	税外収入不納欠損額調べ.....	30頁
16	債務負担行為の状況調べ.....	31頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ.....	32頁 ~43頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事請負費調べ.....	44頁
18	-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの).....	44頁
19	財産に関する調べ.....	45頁 ~47頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ.....	48頁 ~51頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	
21	借受不動産明細調べ.....	51頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ.....	51頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車(二輪車を除く)の管理状況調べ.....	51頁
24	寄附物件の受納状況調べ.....	51頁
25	備品の処分状況調べ.....	52頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ.....	53頁
27	貸付金等状況調べ.....	53頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
28	意見、要望等	53頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

(3) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>【文書指摘】</p> <p>9 梨の生産振興について</p> <p>本県の梨の生産は昭和58年をピークに減少を続け、平成20年度には生産農家、栽培面積とも1／3程度となっております。</p> <p>言うまでもなく、梨は鳥取県を代表する产品であり、次世代においても鳥取県を発信出来るブランドとして生産体制を構築する必要があります。県は、梨の生産振興を図るため、平成20年度までの10年間でハード、ソフト両面にわたって、次世代梨産地育成事業、21世紀園芸産地づくり事業、二十世紀梨再生促進事業等、約1.7億円に及ぶ梨の振興対策事業を繰り返してきましたが、産地の縮小に歯止めがかからていません。特にここ数年、価格の低迷、市場に出回る果物の多様化等その環境は益々厳しくなるばかりであり、農家の梨離れは急速に進んでおり、このままでは産地崩壊が心配されます。</p> <p>「作れば、売れる」という時代ではないことを充分に認識し、消費者ニーズに適合した生産・販売体制について抜本的対策を早急に再検討すべきであります。</p>	<p>平成20年に生産者、農業団体、大学、県が協力して産地再生の道筋を示した「鳥取県梨産業活性化ビジョン」を策定。</p> <p>現在、ビジョン達成のため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県園芸試験場、鳥取大学が育成した新品種を導入し、二十世紀梨を中心に据えた、オリジナル梨品種のシリーズ化を推進。 ②味がのった旬のおいしい梨を供給する産地づくりと魅力ある梨経営の確立。 ③二十世紀梨ブランドの維持・復活を目指すため、気象災害を回避し、高品質化と生産安定を図るなど、梨産地の活性化を図っているところ。 <p>引きつき高品質な品種の導入と消費者の視点に立った産地づくりを産学官一体となって努力して進めていくとともに、生産、販売体制について関係団体等との検討を重ねていく。</p> <p><22年度対応事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代梨産地育成事業 ・二十世紀梨ブランド化事業 ・ブランド「ザ・二十世紀梨」事業

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 項
生産振興課	振興調整担当	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産に関すること ・植物防疫に関すること ・野生鳥獣による農作物の被害対策に関すること ・とつとり花回廊、鳥取二十世紀梨記念館及び病害虫防除所に関すること
	鳥獣被害対策担当	
	生産環境担当	
	水田作物担当	
	果樹担当	
	野菜・花き担当	

4 職員の定員、現員調べ

別 分 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	22.4.1 現 在	21.4.1 現 在							
定 員	5	5	14	14	0	0	19	19	
現 員	4	4	18	17	0	0	22	21	育児休業(事) 1名 育児休業(技) 1名 育児休業予定(技) 1名
過不足(△)	△ 1	△ 1	4	3	0	0	3	2	育児休業(事) 1名 育児休業(技) 1名 育児休業予定(技) 1名
臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	2	2	0	0	0	0	2	2	一般事務 1名 事務補助 1名

5 役付職員の調べ

(平成22年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考	
		年	月	
課長	今井 敏彦	2	3	
参事	須崎 俊一		3	
課長補佐(兼主幹)	森 山 貢	1	3	(事 務)
課長補佐	西尾 博之		3	(技 術)
主幹	宮田 邦夫	1	3	(技 術)
主幹	横山 隆雄		3	(技 術)

6 主な事業に関する調べ

事 業 名	概 要																		
とっとり花回廊管理運営委託費	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 来園者に対するサービスの向上及び管理運営経費の節減など、より効率的な管理運営を図るため、平成18年度から指定管理者制度を導入しており、委託業務内容の確認を行なながら施設の管理運営を行った。</p>																		
決算額 295,000千円	<p>(イ) 事業の実施状況 ・指定管理者 財団法人鳥取県観光事業団 ・指定管理期間 平成18年度から平成22年度までの5年間 ・管理委託料 平成21年度以外の各年度 290,000千円 平成21年度 295,000千円 合計 1,455,000千円 (※平成21年度は開園10周年関係事業を実施)</p>																		
イ	平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし。																		
ウ	<p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> 花壇苗の植栽面積が増えるとともに、来園者に対するサービス向上も図られており、効率的な管理運営が行われた。 花回廊の設置目的である花き園芸振興への取組みとしては概ね評価できる。 特に植替え用の花壇苗については、99%が県内産を使用していた。 入園者動向の分析に基づく各種イベントの見直しや大型のイベント（開園10周記念、地域団体等との連携等）の実施、それらの積極的なPRにより入園者数が増加してきており、平成21年度には指定管理導入後初めて40万人を超過した。 																		
（年間入場者数の推移）	(人)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td><td>400,694</td><td>383,878</td><td>360,835</td><td>389,092</td><td>409,790</td></tr> <tr> <td>対前年比</td><td>△</td><td>96%</td><td>94%</td><td>108%</td><td>105%</td></tr> </tbody> </table>	区 分	H17	H18	H19	H20	H21	入館者数	400,694	383,878	360,835	389,092	409,790	対前年比	△	96%	94%	108%	105%	
区 分	H17	H18	H19	H20	H21														
入館者数	400,694	383,878	360,835	389,092	409,790														
対前年比	△	96%	94%	108%	105%														
エ	<p>課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の魅力で集客を図る施設として、一層の施設の魅力向上を図るとともに、積極的なPR等を行い集客促進に努める必要がある。 施設開園から10年が経過したことにより施設設備の老朽化がみられることから、計画的に改修等を行う必要がある。 																		
(平成21年度の主な助言内容)																			
<ul style="list-style-type: none"> 入園者動向の徹底した分析を行い、集客のための積極的な営業活動及び多様なPR活動が必要である。 「県民に花と緑あふれる憩いの場の提供」及び「観光及び花き振興に資する」というとっとり花回廊の設置目的を達成するためには、展示方法等について様々な工夫をこらすことでもう一度花の魅力で引き付ける必要がある。 集客施設として、来園者に対するきめ細かなサービスの提供に努める必要がある。 																			

事業名	概要																																																											
鳥獣被害総合対策事業	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 鳥獣による農作物等の被害防止を図るため、侵入防止施設の整備と捕獲等に要する経費について助成するとともに、被害防止技術の普及や人材育成を行った。																																																											
決算額 59,756千円	(イ)事業の実施状況 ○ 鳥獣被害総合対策事業(補助事業)																																																											
(財源内訳) 一般財源 51,656千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業主体 (補助率)</th> <th>事業量</th> <th>事業費 (円)</th> <th>補助金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1侵入を防ぐ対策</td> <td></td> <td>小計</td> <td>72,236,676</td> <td>25,161,955</td> </tr> <tr> <td>①侵入防止柵等の設置 ・電気柵、ワイヤーメッシュ柵等</td> <td>市町村(1/2) 農協等(1/3)</td> <td>258km</td> <td>72,236,676</td> <td>25,161,955</td> </tr> <tr> <td>2個体数を減らす対策</td> <td></td> <td>小計</td> <td>69,213,521</td> <td>32,553,725</td> </tr> <tr> <td>①捕獲用具・施設の設置 ・イノシシ捕獲オリの設置 ・スートリア等箱ワナの設置</td> <td>市町村(1/2) 農協等(1/3)</td> <td>84基 275基</td> <td>12,493,036</td> <td>6,067,740</td> </tr> <tr> <td>②有害鳥獣の捕獲</td> <td></td> <td>一式</td> <td>20,833,405</td> <td>8,789,972</td> </tr> <tr> <td>③捕獲班員の育成支援</td> <td></td> <td>4人</td> <td>40,080</td> <td>13,360</td> </tr> <tr> <td>④捕獲奨励金の交付 ・イノシシ捕獲奨励金 ・シカ(獵期外)捕獲奨励金 ・シカ(獵期)捕獲奨励金 ・スートリア捕獲奨励金 ・アライグマ捕獲奨励金</td> <td>市町村(1/2)</td> <td>2,244頭 440頭 321頭 2,659頭 26頭</td> <td>35,847,000</td> <td>17,682,653</td> </tr> <tr> <td>3周辺環境を改善する対策 ・緩衝帯の設置</td> <td>市町村(1/2) 農協等(1/3)</td> <td>小計 63,000</td> <td>63,000</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td>4推進・支援費 ・作業の支援受け入れ</td> <td>市町村(1/2) 農協等(1/3)</td> <td>小計 67,240</td> <td>67,240</td> <td>22,413</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>141,580,437</td> <td>57,759,093</td> </tr> </tbody> </table>					区分	事業主体 (補助率)	事業量	事業費 (円)	補助金額 (円)	1侵入を防ぐ対策		小計	72,236,676	25,161,955	①侵入防止柵等の設置 ・電気柵、ワイヤーメッシュ柵等	市町村(1/2) 農協等(1/3)	258km	72,236,676	25,161,955	2個体数を減らす対策		小計	69,213,521	32,553,725	①捕獲用具・施設の設置 ・イノシシ捕獲オリの設置 ・スートリア等箱ワナの設置	市町村(1/2) 農協等(1/3)	84基 275基	12,493,036	6,067,740	②有害鳥獣の捕獲		一式	20,833,405	8,789,972	③捕獲班員の育成支援		4人	40,080	13,360	④捕獲奨励金の交付 ・イノシシ捕獲奨励金 ・シカ(獵期外)捕獲奨励金 ・シカ(獵期)捕獲奨励金 ・スートリア捕獲奨励金 ・アライグマ捕獲奨励金	市町村(1/2)	2,244頭 440頭 321頭 2,659頭 26頭	35,847,000	17,682,653	3周辺環境を改善する対策 ・緩衝帯の設置	市町村(1/2) 農協等(1/3)	小計 63,000	63,000	21,000	4推進・支援費 ・作業の支援受け入れ	市町村(1/2) 農協等(1/3)	小計 67,240	67,240	22,413			合計	141,580,437	57,759,093
区分	事業主体 (補助率)	事業量	事業費 (円)	補助金額 (円)																																																								
1侵入を防ぐ対策		小計	72,236,676	25,161,955																																																								
①侵入防止柵等の設置 ・電気柵、ワイヤーメッシュ柵等	市町村(1/2) 農協等(1/3)	258km	72,236,676	25,161,955																																																								
2個体数を減らす対策		小計	69,213,521	32,553,725																																																								
①捕獲用具・施設の設置 ・イノシシ捕獲オリの設置 ・スートリア等箱ワナの設置	市町村(1/2) 農協等(1/3)	84基 275基	12,493,036	6,067,740																																																								
②有害鳥獣の捕獲		一式	20,833,405	8,789,972																																																								
③捕獲班員の育成支援		4人	40,080	13,360																																																								
④捕獲奨励金の交付 ・イノシシ捕獲奨励金 ・シカ(獵期外)捕獲奨励金 ・シカ(獵期)捕獲奨励金 ・スートリア捕獲奨励金 ・アライグマ捕獲奨励金	市町村(1/2)	2,244頭 440頭 321頭 2,659頭 26頭	35,847,000	17,682,653																																																								
3周辺環境を改善する対策 ・緩衝帯の設置	市町村(1/2) 農協等(1/3)	小計 63,000	63,000	21,000																																																								
4推進・支援費 ・作業の支援受け入れ	市町村(1/2) 農協等(1/3)	小計 67,240	67,240	22,413																																																								
		合計	141,580,437	57,759,093																																																								
○将来ビジョン 1ひらく (4)食のみやこ鳥取県	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対策区分</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①人材育成</td> <td>・『鳥獣・里山塾』による「イノシッ士(鳥獣技術士)」の育成(27名) ・農業改良普及員等を対象とした人材育成研修(8回)</td> </tr> <tr> <td>②対策技術の普及</td> <td>・「鳥獣対策モデル地区」の設置による技術普及(16地区) ・公開セミナー(カラス・外来生物・シカ・カワウ)による技術普及(4回)</td> </tr> <tr> <td>③新技術の実証</td> <td>アライグマ探索犬の養成試験</td> </tr> <tr> <td>④活動の支援</td> <td>イノシッ士団の派遣(5地区)</td> </tr> </tbody> </table>					対策区分	事業内容	①人材育成	・『鳥獣・里山塾』による「イノシッ士(鳥獣技術士)」の育成(27名) ・農業改良普及員等を対象とした人材育成研修(8回)	②対策技術の普及	・「鳥獣対策モデル地区」の設置による技術普及(16地区) ・公開セミナー(カラス・外来生物・シカ・カワウ)による技術普及(4回)	③新技術の実証	アライグマ探索犬の養成試験	④活動の支援	イノシッ士団の派遣(5地区)																																													
対策区分	事業内容																																																											
①人材育成	・『鳥獣・里山塾』による「イノシッ士(鳥獣技術士)」の育成(27名) ・農業改良普及員等を対象とした人材育成研修(8回)																																																											
②対策技術の普及	・「鳥獣対策モデル地区」の設置による技術普及(16地区) ・公開セミナー(カラス・外来生物・シカ・カワウ)による技術普及(4回)																																																											
③新技術の実証	アライグマ探索犬の養成試験																																																											
④活動の支援	イノシッ士団の派遣(5地区)																																																											
イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点																																																												
○ 鳥獣被害総合対策事業(補助事業)の主な改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・個体数が急増しつつあるシカに対応するため、獵期の捕獲(有害許可捕獲に限る)についても捕獲奨励金(5千円/頭)の対象とした。 ・野生鳥獣を引き寄せる要因となる放任果樹除去に係る経費について補助対象とした。 ・イノシッ士による技術指導・支援に係る経費について補助対象とした。 																																																											
○ 「県鳥獣被害対策連絡会議」に専門部会を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・個体数・生息域が拡大しているシカ・カワウへの対策強化するため、県鳥獣被害対策連絡会議に専門部会を設置して対策を推進。 																																																											
ウ 成果	<p>○集落ぐるみの柵設置等を進めた地域については被害が着実に減少しており、被害額は平成16年度をピークに減少傾向にあったが、その一方で、新たな被害発生地や対策遅延地域で被害が増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農作物等被害額</th> <th>主な鳥獣別の被害内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>279百万円</td> <td>(イノシシ)135百万円(カラス)110百万円(スートリア) 10百万円</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>212百万円</td> <td>(イノシシ)95百万円(カラス)100百万円(スートリア) 12百万円</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>124百万円</td> <td>(イノシシ)35百万円(カラス)68百万円(スートリア) 10百万円(シカ) 1百万円</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>95百万円</td> <td>(イノシシ)35百万円(カラス)45百万円(スートリア) 8百万円(シカ) 2百万円</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>129百万円</td> <td>(イノシシ)53百万円(カラス)44百万円(スートリア) 14百万円(シカ) 11百万円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>137百万円</td> <td>(イノシシ)69百万円(シカ)36百万円(カラス)17百万円(スートリア) 12百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○鳥獣対策の技術指導ができる民間指導者「イノシッ士」27名を養成・登録した。</p>					年度	農作物等被害額	主な鳥獣別の被害内訳	H16	279百万円	(イノシシ)135百万円(カラス)110百万円(スートリア) 10百万円	H17	212百万円	(イノシシ)95百万円(カラス)100百万円(スートリア) 12百万円	H18	124百万円	(イノシシ)35百万円(カラス)68百万円(スートリア) 10百万円(シカ) 1百万円	H19	95百万円	(イノシシ)35百万円(カラス)45百万円(スートリア) 8百万円(シカ) 2百万円	H20	129百万円	(イノシシ)53百万円(カラス)44百万円(スートリア) 14百万円(シカ) 11百万円	H21	137百万円	(イノシシ)69百万円(シカ)36百万円(カラス)17百万円(スートリア) 12百万円																																		
年度	農作物等被害額	主な鳥獣別の被害内訳																																																										
H16	279百万円	(イノシシ)135百万円(カラス)110百万円(スートリア) 10百万円																																																										
H17	212百万円	(イノシシ)95百万円(カラス)100百万円(スートリア) 12百万円																																																										
H18	124百万円	(イノシシ)35百万円(カラス)68百万円(スートリア) 10百万円(シカ) 1百万円																																																										
H19	95百万円	(イノシシ)35百万円(カラス)45百万円(スートリア) 8百万円(シカ) 2百万円																																																										
H20	129百万円	(イノシシ)53百万円(カラス)44百万円(スートリア) 14百万円(シカ) 11百万円																																																										
H21	137百万円	(イノシシ)69百万円(シカ)36百万円(カラス)17百万円(スートリア) 12百万円																																																										

事業名	概要									
	<p>工 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域における被害実態や対策状況を把握し、効果的・計画的な対策を推進する必要がある。 →地域の被害実態や対策状況を把握するため、集落を対象としたアンケート調査を実施。 ○改良普及員等による農家・集落への助言指導を強化する必要がある。 →21年度に引き続き、改良普及員等を対象とした研修を実施。 ○市町村におけるヌートリア・アライグマの捕獲体制を支援・強化する必要がある。 →全市町村での防除実施計画策定に向けて指導・支援。 捕獲従事者養成のための講習会において技術指導を実施。 									
こだわりの米づくり 支援事業	ア 目的及び事業の実施状況									
決算額 883千円 (財源内訳)	(ア) 目的 本県農業の基幹作物である米について、新品種導入による収量、品質の向上と 地域こだわりの米づくりによる農家所得の向上を図る。									
一般財源 882千円 その他(雑入) 1千円	(イ) 事業の実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>実施主体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新品種「きぬむすめ」の作付拡大と良品質生産のため、栽培技術の生産現場への浸透に必要な取組に対して助成。 1. 作付拡大検討会、栽培技術研修会の開催(指導者向け) (検討会2回、指導者向け研修会 1回・15名) 2. 生産者向け栽培研修会開催、パンフレット作成 (生産者向け研修会 1回・70名)</td><td>鳥取県産米改良協会</td></tr> <tr> <td>消費者等に新品種「きぬむすめ」をPRし、市場評価を高めるために必要な取組に対して助成。 1. 米卸業者、量販店とのPRのための協議 2. PR配布用米袋の作成</td><td>全農鳥取県本部</td></tr> <tr> <td>良好な水田環境の認定である「環境特A」の取得に必要な取組に対して助成。 1. 環境特A取得(環境調査、登録) 2. 環境特A地区の米の販売促進活動</td><td>生産組織等</td></tr> </tbody> </table>	事業内容	実施主体	新品種「きぬむすめ」の作付拡大と良品質生産のため、栽培技術の生産現場への浸透に必要な取組に対して助成。 1. 作付拡大検討会、栽培技術研修会の開催(指導者向け) (検討会2回、指導者向け研修会 1回・15名) 2. 生産者向け栽培研修会開催、パンフレット作成 (生産者向け研修会 1回・70名)	鳥取県産米改良協会	消費者等に新品種「きぬむすめ」をPRし、市場評価を高めるために必要な取組に対して助成。 1. 米卸業者、量販店とのPRのための協議 2. PR配布用米袋の作成	全農鳥取県本部	良好な水田環境の認定である「環境特A」の取得に必要な取組に対して助成。 1. 環境特A取得(環境調査、登録) 2. 環境特A地区の米の販売促進活動	生産組織等
事業内容	実施主体									
新品種「きぬむすめ」の作付拡大と良品質生産のため、栽培技術の生産現場への浸透に必要な取組に対して助成。 1. 作付拡大検討会、栽培技術研修会の開催(指導者向け) (検討会2回、指導者向け研修会 1回・15名) 2. 生産者向け栽培研修会開催、パンフレット作成 (生産者向け研修会 1回・70名)	鳥取県産米改良協会									
消費者等に新品種「きぬむすめ」をPRし、市場評価を高めるために必要な取組に対して助成。 1. 米卸業者、量販店とのPRのための協議 2. PR配布用米袋の作成	全農鳥取県本部									
良好な水田環境の認定である「環境特A」の取得に必要な取組に対して助成。 1. 環境特A取得(環境調査、登録) 2. 環境特A地区の米の販売促進活動	生産組織等									
○将来ビジョン 1ひらく (4)食のみやこ鳥取県	イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 <ul style="list-style-type: none"> ・新品種「きぬむすめ」の特徴を多くの生産者に知ってもらえるよう、鳥取県産米改良協会の現地展示ほ場を活用しながら、普及を図った。 ・栽培手帳や施肥判断のための葉色板を作成し、生産者が「きぬむすめ」の栽培へ移行しやすいよう工夫した。 ウ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・新品種(きぬむすめ)の普及推進を図ったことにより、平成22年度の作付予定面積は450ha以上であり、平成21年度の15倍以上と大幅に増加が見込まれる。 ・平成21年産の「きぬむすめ」の1等米比率は95%と平均を約10%上回った。 ・関西の量販店でのPRや販売についての話し合いができ、平成22年度のPRの準備ができた。 エ 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・環境特Aが広く認識されていない等の理由により取得が進まないことから、環境特Aの取得に限定せず、幅広くこだわりの米づくりの取組みへの支援を検討する必要がある。 ・平成21年度は「きぬむすめ」の生産量が少量であったため、PRが十分にできなかった。平成22年度は生産量が大幅に増加することから、PR活動を強化する必要がある。 									

事業名	概要																		
次世代鳥取梨産地育成事業 決算額 49,163千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 「鳥取県梨産業活性化ビジョン」を実現するため、新品種の導入、生産安定等の生産基盤整備、産地づくり運動及び戦略的なPR活動を支援し、鳥取県育成オリジナル新品種の産地育成及びブランド化を早期に進める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>細事業名</th><th>事業内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産基盤整備対策</td><td> ブランド化を目指した新品種の導入とそれに伴う基盤の整備を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・新植改植、高接ぎ更新、及び果樹棚の整備 ・網掛け施設、かん水施設等の設置 ・防除用機械、園内道の整備 </td></tr> <tr> <td>育成促進対策</td><td>新品種導入に取り組む農家に対して奨励金を交付する。</td></tr> <tr> <td>栽培技術実証対策</td><td>新品種本来の味を發揮する栽培技術の現地実証を行う。</td></tr> <tr> <td>鳥取梨ブランドアップ対策</td><td> 県育成オリジナル新品種の登場を県独自でPR <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシを作成し、販売促進活動で活用 新品種等の生産及び販売戦略を構築し、県育成オリジナル新品種のPRや産地づくり運動を展開する。 </td></tr> </tbody> </table> <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の試験出荷状況（糖度のバラツキ）を踏まえ、新品種本来の味を發揮する栽培管理の現地実証モデル園を設置した。 ・新品種の導入を強力に推進するため、育成経費相当額の一部を奨励金として交付する「育成促進対策」を新たに実施した。 ・新品種「新甘泉（しんかんせん）」の名称に合わせて、新幹線の月刊誌「ひととき」や駅でのポスター掲載によるPRを行った。 <p>ウ 成果</p> <p>○ 生産基盤整備対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を活用することで、鳥取県育成オリジナル新品種の「なつひめ」「新甘泉」の導入が促進され、生産基盤の整備がなされた。 <table> <tbody> <tr> <td>新植改植、高接ぎ更新、及び果樹棚の整備</td> <td>延べ面積 : 1,351a</td> </tr> <tr> <td>網掛け施設、かん水施設等の設置</td> <td>延べ面積 : 216a</td> </tr> <tr> <td>パイプ棚、防蛾灯</td> <td>延べ面積 : 18a</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 育成促進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を活用することで新品種の導入が促進された。 <table> <tbody> <tr> <td></td> <td>延べ面積 : 1,927a</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 栽培技術実証対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各農業改良普及所が栽培技術実証モデル園を設置し、生産者へ栽培技術が周知された。 <p>栽培技術実証モデル園の設置</p> <p>○ 鳥取梨ブランドアップ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新品種の生産・販売戦略を構築し、集出荷販売、PR及び産地づくり運動を開拓した。 ・ブランド化プロジェクト会議を開催し、生産・販売について協議した。 ・県内の新品種を一元集荷し、基準糖度を設定することでブランド力の向上を図った。 ・県外の市場関係者に対し試食検討会を開催し、市場性・商品性を確認した。 ・出荷資材（箱等）やポスター・チラシを作成し新品種のイメージを高めた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR活動に比べ十分な生産量が確保できていない。より一層の生産対策が必要である。 ・新品種であるため、栽培技術が十分に農家レベルまで浸透していない。今後、現地に栽培技術を普及していくことが必要である。 ・消費者や市場関係者に対するPRを継続して行い、ブランドとして定着させる必要がある。 	細事業名	事業内容	生産基盤整備対策	ブランド化を目指した新品種の導入とそれに伴う基盤の整備を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・新植改植、高接ぎ更新、及び果樹棚の整備 ・網掛け施設、かん水施設等の設置 ・防除用機械、園内道の整備 	育成促進対策	新品種導入に取り組む農家に対して奨励金を交付する。	栽培技術実証対策	新品種本来の味を發揮する栽培技術の現地実証を行う。	鳥取梨ブランドアップ対策	県育成オリジナル新品種の登場を県独自でPR <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシを作成し、販売促進活動で活用 新品種等の生産及び販売戦略を構築し、県育成オリジナル新品種のPRや産地づくり運動を展開する。	新植改植、高接ぎ更新、及び果樹棚の整備	延べ面積 : 1,351a	網掛け施設、かん水施設等の設置	延べ面積 : 216a	パイプ棚、防蛾灯	延べ面積 : 18a		延べ面積 : 1,927a
細事業名	事業内容																		
生産基盤整備対策	ブランド化を目指した新品種の導入とそれに伴う基盤の整備を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・新植改植、高接ぎ更新、及び果樹棚の整備 ・網掛け施設、かん水施設等の設置 ・防除用機械、園内道の整備 																		
育成促進対策	新品種導入に取り組む農家に対して奨励金を交付する。																		
栽培技術実証対策	新品種本来の味を發揮する栽培技術の現地実証を行う。																		
鳥取梨ブランドアップ対策	県育成オリジナル新品種の登場を県独自でPR <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシを作成し、販売促進活動で活用 新品種等の生産及び販売戦略を構築し、県育成オリジナル新品種のPRや産地づくり運動を展開する。																		
新植改植、高接ぎ更新、及び果樹棚の整備	延べ面積 : 1,351a																		
網掛け施設、かん水施設等の設置	延べ面積 : 216a																		
パイプ棚、防蛾灯	延べ面積 : 18a																		
	延べ面積 : 1,927a																		

事業名	概要										
ブランド「ザ・二十世紀梨」事業 決算額 1,662千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 「鳥取県梨産業活性化ビジョン」を実現するため、二十世紀梨ブランドの維持、再興をめざし、生産安定及び高付加価値化・省力化のための生産基盤の整備を行い、本県梨生産の一層の発展を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td><td>気象災害等の回避及び半無袋栽培のための網掛け施設等導入補助</td></tr> <tr> <td>事業対象</td><td>網掛け施設、防蛾灯等の導入</td></tr> <tr> <td>対象品種</td><td>ゴールド二十世紀、おさゴールド</td></tr> <tr> <td>補助率</td><td>県 1/2</td></tr> <tr> <td>事業主体</td><td>農業協同組合、営農集団、認定農業者または認定農業者に準ずるもの</td></tr> </table>	事業内容	気象災害等の回避及び半無袋栽培のための網掛け施設等導入補助	事業対象	網掛け施設、防蛾灯等の導入	対象品種	ゴールド二十世紀、おさゴールド	補助率	県 1/2	事業主体	農業協同組合、営農集団、認定農業者または認定農業者に準ずるもの
事業内容	気象災害等の回避及び半無袋栽培のための網掛け施設等導入補助										
事業対象	網掛け施設、防蛾灯等の導入										
対象品種	ゴールド二十世紀、おさゴールド										
補助率	県 1/2										
事業主体	農業協同組合、営農集団、認定農業者または認定農業者に準ずるもの										
○将来ビジョン 1ひらく (4) 食のみやこ鳥取県	<p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新品種の導入が優先され、施設の事業量が頭打ちとなっているが、機会を捉えて各生産部や生産者に事業周知を行った。</p> <p>ウ 成果 気象災害の回避や糖度向上等に効果のある網掛け施設の設置が進んだ。 網掛け施設の設置面積 : 51a</p>										
二十世紀梨ブランド化事業 決算額 8,979千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 「鳥取県梨産業活性化ビジョン」に沿った鳥取オリジナル品種によるシリーズ出荷を実現し、味がのった旬の時期に二十世紀梨を出荷して消費者の評価を高めるため、本当の味に仕上がってない8月下旬の早出し出荷の量を減らして、9月中下旬の出荷量を増やす取り組みを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>細事業名</td><td>事業内容</td></tr> <tr> <td>奨励金交付制度</td><td>8月下旬に市場出荷される二十世紀梨の出荷量を、9月中下旬へ移行する取り組みを実施する生産者(農協)に対し、1ケース当たり500円の奨励金を交付。</td></tr> <tr> <td></td><td>生産部で定めた指針に沿った完熟梨の栽培に取り組み、積極的にPR活動を展開している生産部に対し、完熟梨の増加分に応じて、1ケース500円の奨励金を交付。</td></tr> <tr> <td>市場関係者・消費者に対する販売促進活動</td><td>旬な時期に出荷される二十世紀梨の「おいしさ」を理解してもらうために市場関係者・消費者に対してPR活動を実施。</td></tr> <tr> <td>組織内での推進活動</td><td>県内各農協単位で梨ビジョン推進にかかる検討会を開催し、生産・販売計画を策定。</td></tr> </table>	細事業名	事業内容	奨励金交付制度	8月下旬に市場出荷される二十世紀梨の出荷量を、9月中下旬へ移行する取り組みを実施する生産者(農協)に対し、1ケース当たり500円の奨励金を交付。		生産部で定めた指針に沿った完熟梨の栽培に取り組み、積極的にPR活動を展開している生産部に対し、完熟梨の増加分に応じて、1ケース500円の奨励金を交付。	市場関係者・消費者に対する販売促進活動	旬な時期に出荷される二十世紀梨の「おいしさ」を理解してもらうために市場関係者・消費者に対してPR活動を実施。	組織内での推進活動	県内各農協単位で梨ビジョン推進にかかる検討会を開催し、生産・販売計画を策定。
細事業名	事業内容										
奨励金交付制度	8月下旬に市場出荷される二十世紀梨の出荷量を、9月中下旬へ移行する取り組みを実施する生産者(農協)に対し、1ケース当たり500円の奨励金を交付。										
	生産部で定めた指針に沿った完熟梨の栽培に取り組み、積極的にPR活動を展開している生産部に対し、完熟梨の増加分に応じて、1ケース500円の奨励金を交付。										
市場関係者・消費者に対する販売促進活動	旬な時期に出荷される二十世紀梨の「おいしさ」を理解してもらうために市場関係者・消費者に対してPR活動を実施。										
組織内での推進活動	県内各農協単位で梨ビジョン推進にかかる検討会を開催し、生産・販売計画を策定。										
○将来ビジョン 1ひらく (4) 食のみやこ鳥取県	<p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 - 各生産部・農協・市町村に事業内容を周知するために事業説明会を2回開催した。 - 事業計画で必要となる標準出荷モデル等の作成ファイルを配布し、活用してもらった。 - 事業目的に沿ったJA鳥取中央の完熟梨「美味・熟と梨」の取り組みも対象とした。</p> <p>ウ 成果 - 植物ホルモンを使用して8月に早出しする二十世紀梨を減らし、本来の旬である9月に出荷する取り組みが県内梨生産部で行われた。 - おいしい梨を出荷することがブランドを高めることになるという動議付けになった。 奨励金の交付対象出荷量 51,442ケース (10kg)</p>										

事業名	概要
	<p>工 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度は長雨日照不足により糖度が不足し、9月へ出荷を移行しても二十世紀梨本来の味の梨を供給できなかった。 ・補正予算による平成21年度中途からの取り組みのため実施していない梨生産部もあり、これらも事業推進を行う。 ・消費者や市場関係者へのPRを継続して行い、完熟二十世紀ブランドとして定着させる必要がある。
果樹経営安定緊急 対策事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>梨価格の長期低迷により生産農家の経営状況の厳しさが増していることから、果樹経営安定に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、果樹農家の経営実態を調査するとともに、経営改善に向けた取組を支援する。</p>
決算額 10千円	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○ 県段階</p> <p>鳥取県農業協同組合中央会が中心となり果樹経営安定対策委員会（経営安定化プロジェクトチーム）を立ち上げ、果樹経営安定化のための総合的な改善策を検討し、提案する。</p> <p>○ 地域段階</p> <p>農協組織が中心となり「地域指導班」を編成し、個別農家の実情をきめ細かく調査し、経営指導を展開する。</p>
(財源内訳) 一般財源 10千円	<p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>価格低迷により果樹農家の経営が悪化し、資金だけでは対応できなくなってきたことから、11月補正により本事業を実施した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>果樹農家の厳しい経営状況の実態を把握し、果樹経営安定対策委員会を開催して、共通課題ならびに課題処理の方向性を整理した。</p> <p>エ 課題</p> <p>果樹経営安定対策委員会で検討した改善策（①生産技術指導の徹底、②有望な品種・品目への変更、③経営再建システムの構築）の推進及び施策化を行う。</p>

事業名	概要																																				
有機・特別栽培農産物等総合支援事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>県は、地域農業の活性化や「環境にやさしい農業」の更なる推進を目的として、平成13年に特別栽培農産物の認証制度を創設、平成16年1月からJAS法に基づく登録認定機関となり、有機農産物等の認定業務を開始した。酒類についての「有機」の表示はJAS法の対象外であるが、県独自の制度を創設し、同年10月より県内の酒造業者に対して有機農産物加工酒類製造の証明を行っている。</p> <p>平成19年度に国の有機農業推進法を受けて「鳥取県有機・特別栽培農産物推進計画」を策定し、その中で推進目標を明確化。平成20年度より「有機・特別栽培農産物等総合支援事業」を創設し、目標達成に向けた一的な施策を展開している。</p>																																				
決算額 8,231千円 (財源内訳) 一般財源 6,795千円 手数料 564千円 その他 872千円	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 有機農産物等認定業務</p> <p>◎ 農林水産大臣から許可を受けた登録認定機関（第三者認証機関）がJAS法で定めた特別な生産方法（JAS規格）に基づき生産する者を認定する制度。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規認定実績 <ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物 8件 ・有機加工食品 2件 ○ 継続認定、証明 <ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物等の継続認定の年次調査及び再検査 20件 ・有機農産物加工酒類の年次調査 2件 ○ 現在の認定・証明数（平成22年3月現在） <ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物 19件 ・有機農産物小分け 1件 ・有機加工食品 7件 ・有機加工食品小分け 3件 ・有機農産物加工酒類 2件 <p>(2) 特別栽培農産物認証業務</p> <p>◎ 国の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づき、農薬や化学肥料を削減するなど一定の要件を満たして生産された農産物を県が認証する制度。</p> <p>221団体、957ha (平成22年3月現在)</p> <p>(3) 有機実証モデル展示ほの設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作目</th> <th>展示ほ場所</th> <th>普及所</th> <th>作目</th> <th>展示ほ場所</th> <th>普及所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td>鳥取市気高町</td> <td>鳥取</td> <td>らっきょう</td> <td>北栄町</td> <td>東伯</td> </tr> <tr> <td>水稻</td> <td>智頭町</td> <td>八頭</td> <td>水稻</td> <td>大山町</td> <td>大山</td> </tr> <tr> <td>酒米</td> <td>倉吉市</td> <td>倉吉</td> <td>大豆</td> <td>南部町</td> <td>米子</td> </tr> <tr> <td>水稻</td> <td>琴浦町</td> <td>東伯</td> <td>らっきょう</td> <td>日吉津村</td> <td>米子</td> </tr> <tr> <td>ミニトマト</td> <td>琴浦町</td> <td>東伯</td> <td>水稻</td> <td>日南町</td> <td>日野</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 有機技術者育成講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機加工食品の認定に係る技術研修会を開催。 ・特定非営利活動法人 日本オーガニック検査員協会との委託契約により県内実施。 ・開催時期：6月8日～10日、対象：県職員7名 ・委託契約事務は調書17に掲載。 <p>(5) 有機・特栽農業推進塾</p> <p>○ 第1回　日 時：平成21年10月19日（月）</p> <p>内 容：和歌山県内有機農家及び流通業者視察</p> <p>視察先：（株）ビオ・マーケット 和歌山センター、 （株）ビオ・ランド、ビオ・マルシェ甲東園店</p> <p>参加者：21名</p>	作目	展示ほ場所	普及所	作目	展示ほ場所	普及所	水稻	鳥取市気高町	鳥取	らっきょう	北栄町	東伯	水稻	智頭町	八頭	水稻	大山町	大山	酒米	倉吉市	倉吉	大豆	南部町	米子	水稻	琴浦町	東伯	らっきょう	日吉津村	米子	ミニトマト	琴浦町	東伯	水稻	日南町	日野
作目	展示ほ場所	普及所	作目	展示ほ場所	普及所																																
水稻	鳥取市気高町	鳥取	らっきょう	北栄町	東伯																																
水稻	智頭町	八頭	水稻	大山町	大山																																
酒米	倉吉市	倉吉	大豆	南部町	米子																																
水稻	琴浦町	東伯	らっきょう	日吉津村	米子																																
ミニトマト	琴浦町	東伯	水稻	日南町	日野																																

事業名	概要											
	<p>○ 第2回 日 時： 平成21年10月30日（金） 13時30分から16時 場 所： 園芸試験場講堂 内 容： 調査報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国親環境農業の取り組みについて ・ （株）ビオ・マーケット等の取り組みについて 講 師： 生産環境担当 参加者： 33名</p>											
	<p>○ 第3回 日 時： 平成22年2月23日（火） 13時15分から16時30分 場 所： 園芸試験場講堂 内 容： 生物農薬（天敵・微生物農薬）の適正使用について 　（農薬適正使用研修会との共同開催） 講 師： 埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所長 　アリストライフサイエンス（株）顧問 　出光興産（株）アグリバイオ部事業部 担当課長 参加者： 85名</p>											
	<p>○ 第4回 日 時： 平成22年3月5日（金） 13時30分から16時 場 所： 鳥取中央有線放送（株）湯梨浜支局3階 大会議室 内 容： インターネット等を活用した農産物販売事業者による流通研修 講 師： オイシックス株式会社 　商品本部青果企画セクションマネージャー 　R a d i x の会 常務理事／事務局長 参加者： 71名</p>											
	<p>(6) 地域研究会の開催（農林局執行）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>東部</th> <th>西部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>7/10</td> <td>8/23</td> <td>10/1</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 有機・特栽技術相談員バンク登録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機認定事業者から12名を相談員登録。 ・ 「有機農業シンポジウム」会場に相談コーナーを設置し、2名の相談員を配置。 <p>(8) 有機・特栽生産技術支援事業（各農林局執行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実績：水田除草機6台 　循環式送風機6台 <p>(9) 講演会、シンポジウムの開催</p> <p>「平成21年度鳥取県有機農業シンポジウム」</p> <p>日 時： 平成21年12月8日（火） 13時10分から16時30分まで 場 所： とりぎん文化会館 第1会議室 講 師： 有機のがっこう「土佐自然塾」塾長 　今治市産業振興部農林振興課地産地消推進室 　今治市 長尾農園代表 出席者： 150名</p> <p>(10) 新聞、T V、広報紙等での制度PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本海テレビ「とっとりWhy？」特集 6月14日放映 ・ 「とっとりの野菜と花」7月号（有機農家紹介）、10月号（韓国親環境農業報告） ・ 新聞による有機・特栽制度の周知 　「日本海新聞」 6月12日 全5段 ・ テレビ、ラジオを活用したメディアミックスによる制度PRを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ① テレビスポット（15秒） 　民放3局（25回/局） 　放送期間：平成21年10月16日から10月25日まで ② ラジオスポット（20秒） 　山陰放送（20回） 		東部	西部	開催日	7/10	8/23	10/1	参加者数	25	22	32
	東部	西部										
開催日	7/10	8/23	10/1									
参加者数	25	22	32									

事 業 名	概 要																																				
	<p>(11) 直売所、イベント等での展示PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 直売所や消費者が多く参加する地域イベント等で県民に有機・特栽をPR。 (パネル展示、商品展示) <p><主な出展イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> グリーン購入大会 5月24日 とりぎん文化会館 (パネル、商品展示) 「食のみやこ鳥取県食の博覧会in西部」 10月31日、11月1日 米子コンベンションセンター (パネル、商品展示) 「平成21年度鳥取県有機農業シンポジウム」 12月8日 (パネル、商品展示) 心と体の健康つくり提唱のつどい 12月13日 倉吉未来中心 <p>(12) 消費者交流・販売調査事業 (各農林局執行)</p> <p>実績: 東部1件</p> <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の体系的整理、ハード的支援、人的なネットワーク構築を一体的に進め、生産者が取り組みやすい環境作りと定着を推進。 有機・特栽生産者と流通業者とのマッチング支援。 一般県民への有機農産物、特別栽培農産物の周知を効率的に行うため、一的な制度PRを実施。 <p>ウ 成果</p> <p>(1) 有機農産物等認定</p> <p>認定の年次的推移 (平成22年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>平成17年</th><th>平成18年</th><th>平成19年</th><th>平成20年</th><th>平成21年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団 体 数</td><td>7</td><td>10</td><td>12</td><td>13</td><td>21</td></tr> <tr> <td>面積(ha)</td><td>21</td><td>28</td><td>32</td><td>32</td><td>44</td></tr> </tbody> </table> <p>* 県外登録認定機関により認定された生産者(2団体)も含む</p> <p>(2) 特別栽培農産物認証</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証基準に基づき、農薬、化学肥料を5割以上削減して生産した農産物を、県特別栽培農産物として認証した。 <p>平成21年度認証実績 221団体 (957ha、内水稻: 673ha)</p> <p>特別栽培農産物認証の年次的推移 (平成22年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>平成17年</th><th>平成18年</th><th>平成19年</th><th>平成20年</th><th>平成21年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積(ha)</td><td>630</td><td>667</td><td>699</td><td>808</td><td>957</td></tr> <tr> <td>団 体 数</td><td>153</td><td>138</td><td>153</td><td>187</td><td>221</td></tr> </tbody> </table> <p>* 団体数は延べ数</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機農産物・特別栽培農産物等の認知度もまだまだ低く、県民向けのPRが引き続き必要である。特に、特別栽培農産物は比較的取り組みやすい反面、販路の確保が課題となっているが、小規模生産者においては自力での販路開拓が難しい。 生産者間のつながりが希薄であり、技術や販路等の情報交換の機会が少ない。引き続き事業導入による人的ネットワーク構築の働きかけが必要。 有機農産物にくらべ、慣行物との差別化という面では特別栽培農産物は弱いのは事実であるが、ネット販売等においては特栽も有効。ただし、その第3者認証が必須であり、県が認証を進める価値はある。 研修会、シンポジウム等を通じ、国内の優良生産者や、流通業者等と県内生産者の意見交換や具体的なマッチングを進めてきた。今後は、ソフト事業等を有効に活用し、自ら、販路開拓を進める機運を醸成する必要がある。 	区 分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	団 体 数	7	10	12	13	21	面積(ha)	21	28	32	32	44	区 分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	面積(ha)	630	667	699	808	957	団 体 数	153	138	153	187	221
区 分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年																																
団 体 数	7	10	12	13	21																																
面積(ha)	21	28	32	32	44																																
区 分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年																																
面積(ha)	630	667	699	808	957																																
団 体 数	153	138	153	187	221																																

事業名	概要																											
花き生産強化推進事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成21年3月、県と鳥取県花き振興協議会が共同で「鳥取県花き振興ビジョン」を策定。このビジョンの実現に向けて、市場動向に応じた生産体制の整備、消費活動、流通販売対策、生産技術の向上などの取り組みに対して、県として支援する。</p>																											
決算額 3,151千円 (財源内訳) 一般財源 3,151千円	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「とっとりの花」魅力体験事業 県内の児童・生徒を対象に県産花きを使用した体験学習（フラワー・アレンジメント）に係る材料費を補助 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>実施校（校）</th> <th>参加生徒数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県花き振興協議会</td> <td>9</td> <td>245</td> </tr> </tbody> </table> ○ フラワーチャレンジパックアップ事業（各農林局執行） 新規に花き品目の生産に取り組むためにかかる経費（種苗費など）を補助 <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>事業実施主体</th> <th>品目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取市</td> <td>鳥取ホスタ研究会</td> <td>ホスタ（ギボウシ）</td> </tr> <tr> <td>三朝町</td> <td>鎌田花き組合</td> <td>菊</td> </tr> </tbody> </table> ○ 花き生産レベルアップ事業 県内東・中・西部地区ごとで地域課題に応じた研修会を開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月日</th> <th>研修会</th> <th>開催場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/4・5</td> <td>ストック栽培講習会</td> <td>中山農村環境改善センター外</td> </tr> <tr> <td>2/13・14</td> <td>枝物研修会</td> <td>鳥取花市場外現地</td> </tr> <tr> <td>2/20</td> <td>講演会「日本の花文化」</td> <td>とりぎん文化会館</td> </tr> </tbody> </table> ○ 「とっとりの花」PR事業（委託） 主要な鳥取県産花きの生産から出荷までの様子を紹介するPR用DVDを作成。 ○ 花のまつり開催費補助 広く県民の花に関する関心を高め、花文化の定着を図るために、花の総合イベント（花のまつり）開催に要する経費に助成した。 事業実施主体：鳥取県花き振興協議会 実施場所：米子市文化ホール 開催日：平成21年10月16～18日 内容：第39回花き品評会、第12回フラワーデザイン競技会、寄せ植え教室、園芸セミナー、フラワー・アレンジメント教室等 ○ 日本花普及センター負担金 (財)日本花普及センターの会員となり、全国的な花の消費拡大対策などの情報を入手し、県内生産者等へ提供 ○ ミニフラワーガーデン設置費（県事務費） 「花と緑のまちづくり」のため、県地方機関へ花プランターの設置及び委託管理 	事業実施主体	実施校（校）	参加生徒数（人）	鳥取県花き振興協議会	9	245	市町村	事業実施主体	品目名	鳥取市	鳥取ホスタ研究会	ホスタ（ギボウシ）	三朝町	鎌田花き組合	菊	年月日	研修会	開催場所	2/4・5	ストック栽培講習会	中山農村環境改善センター外	2/13・14	枝物研修会	鳥取花市場外現地	2/20	講演会「日本の花文化」	とりぎん文化会館
事業実施主体	実施校（校）	参加生徒数（人）																										
鳥取県花き振興協議会	9	245																										
市町村	事業実施主体	品目名																										
鳥取市	鳥取ホスタ研究会	ホスタ（ギボウシ）																										
三朝町	鎌田花き組合	菊																										
年月日	研修会	開催場所																										
2/4・5	ストック栽培講習会	中山農村環境改善センター外																										
2/13・14	枝物研修会	鳥取花市場外現地																										
2/20	講演会「日本の花文化」	とりぎん文化会館																										
イ ウ エ 工	<p>平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ビジョン達成のため、グループ育成及び新規花き種苗の導入等に助成した。 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「とっとりの花」魅力体験事業を実施した児童・生徒からアンケートをとり、その感想の中にフラワー・アレンジをとおして貴重な体験をしたとの感想があり、花の将来的な消費者になる1歩を刻めた。 課 題 <ul style="list-style-type: none"> フラワーチャレンジパックアップ事業は、5グループの取り組みに対する予算計上をして事業推進を図ったが、3人以上のグループで同一品目に取り組むことを要件としたため、2グループにとどまった。 県内の東・中・西部で花き生産レベルアップ事業の推進を図ったが、各団体間の調整ができず、中部地区の開催ができなかった。 																											

事業名	概要																
交配用みつばち確保連携モデル事業 決算額 (財源内訳) 一般財源(予備費) (経済危機対策臨時交付金)	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 全国的な交配用みつばち不足に対応するため、県産材を使った交配用みつばちの巣箱を緊急的に確保する。 (イ) 事業の実施状況 県産材を使った交配用みつばちの巣箱300個の作成にかかる費用を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>補助率</th> <th>事業費(円)</th> <th>補助金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全農鳥取県本部</td> <td>県1/2</td> <td>1,260,000</td> <td>630,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 予備費で緊急的に実施。</p> <p>ウ 成果 - 県内で必要な交配用みつばちが確保された。 - 県内の農家と養蜂農家との連携が実現し、県内需給体制づくりのきっかけとなった。</p> <p>エ 課題 - 県内農家と養蜂農家の連携による県内需給体制の推進</p>	事業実施主体	補助率	事業費(円)	補助金(円)	全農鳥取県本部	県1/2	1,260,000	630,000								
事業実施主体	補助率	事業費(円)	補助金(円)														
全農鳥取県本部	県1/2	1,260,000	630,000														
交配用みつばち価格高騰支援事業 決算額 (財源内訳) 一般財源	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 すいか・メロンなどの交配用みつばちの全国的な不足による価格高騰に伴い、当初価格との価格差を助成し、園芸農家の経営への影響を緩和する。 (イ) 事業の実施状況 県内で必要な交配用みつばち4,500群のうち、価格高騰後に購入された約1,500群について、価格差を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>補助率</th> <th>事業費(円)</th> <th>補助金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取中央農業協同組合</td> <td>県1/3</td> <td>7,631,850</td> <td>2,543,000</td> </tr> <tr> <td>鳥取西部農業協同組合</td> <td></td> <td>372,610</td> <td>124,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>8,004,460</td> <td>2,667,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 6月補正により緊急的に実施。</p> <p>ウ 成果 交配用みつばち価格の高騰による園芸農家の経営への影響が緩和された。</p> <p>エ 課題 - 交配用みつばちは依然として全国的に不足傾向にある。 - 養蜂農家と耕種農家の連携事業(国補)が行われ、地域内流通が拡大した。 - 今後県内養蜂農家と連携して交配用みつばちの安定的な需給体制の構築が必要である。</p> <p>* 交配用みつばちは、働き蜂約1,000頭、あるいは2,000頭を巣箱に分け入れたものを1群として使用する。</p>	事業実施主体	補助率	事業費(円)	補助金(円)	鳥取中央農業協同組合	県1/3	7,631,850	2,543,000	鳥取西部農業協同組合		372,610	124,000	合計		8,004,460	2,667,000
事業実施主体	補助率	事業費(円)	補助金(円)														
鳥取中央農業協同組合	県1/3	7,631,850	2,543,000														
鳥取西部農業協同組合		372,610	124,000														
合計		8,004,460	2,667,000														

(総括表)

(単位:円)

区分	科 目	当初予算額	補正予算額	予 算 現 額		支出額	支 出 清 銀 の 内 訳		差引増減額	備 考
				繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支 出 及 び 流用増減		計 A	B		
農業経務費	398,291,000	35,770,000	23,968,000	(23,968,000)	(20,164,000)	(13,864,000)	(6,300,000)	(6,300,000)	(3,804,000)	
農作物対策費	631,986,000	10,298,000	89,632,000	(89,632,000)	462,029,000	423,620,600	406,825,000	16,795,600	29,266,000	9,162,400
肥料植物防疫費	17,872,000	1,481,000			19,353,000	14,583,935	3,481,141	11,102,794	1,481,000	(51,661,000)
合 計	1,048,149,000	51,549,000	(113,600,000)	113,600,000	11,995,000	(113,600,000)	(58,135,000)	(13,864,000)	(44,271,000)	(55,465,000)
行政財産使用料	44,000				44,000	52,563			32,621,000	122,852,639
有機農産物等認定手数料	424,000				424,000	564,000				△ 140,000
農業経務費補助金	25,008,000	17,975,000	(17,975,000)	(17,975,000)	42,983,000	28,470,600				(0)
農作物対策費補助金	374,200,000	16,505,000	67,150,000	(67,150,000)	(67,150,000)	(11,904,000)	457,855,000	398,886,000	14,504,000	8,400
肥料植物防疫費補助金	5,530,000	500,000			6,030,000	5,382,000				(55,246,000)
同上財源内訳		100,000			100,000	246,702				58,969,000
繰入金	12,576,000				12,576,000	10,412,000				
繰越金				(28,475,000)	(28,475,000)	28,256,000				2,164,000
雑入	175,000	△ 100,000			75,000	89,607				(219,000)
小 計	380,373,000	54,589,000	113,600,000	0	548,562,000	(28,256,000)	472,359,472		15,004,000	61,198,528
一般累積充当	667,776,000	△ 3,040,000	0	11,995,000	676,731,000	597,459,889	(0)		17,617,000	61,654,111
合 計	1,048,149,000	51,549,000	(113,600,000)	11,995,000	(113,600,000)	(58,135,000)	(58,135,000)	1,059,319,361	32,621,000	(55,465,000)

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(農業総務費) とっとり花回廊施設管理費	(6,572,000) 37,125,000	(6,300,000) 9,261,000	(0) 22,262,000	(272,000) 5,602,000	() 内は前年度からの繰越で内数 とっとり花回廊の施設の管理に必要な修繕、調査等を行った。
区分 事業費(円) 事業内容					
	業務委託	2,961,000	周辺水質調査		
	工事請負費	6,300,000	フラワードーム景観照明設備改修工事		
	合計	9,261,000			
(主) とっとり花回廊管理運営委託費	295,000,000	295,000,000	0	0	主な事業に関する調べに記載
とっとり花回廊施設改修費	13,682,000	6,669,600	7,004,000	8,400	とっとり花回廊施設の危険箇所の改修工事を行った。
区分 事業費(円) 事業内容					
	工事請負費	6,669,600	園路舗装工事		
鳥取二十世紀梨記念館管理運営委託費	95,000,000	95,000,000	0	0	来館者に対するサービスの向上及び管理運営経費の節減など、より効率的な管理運営を図るため、平成21年度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営の委託を行った。
指定管理者 財団法人鳥取県観光事業団 指定管理期間 平成21年度から平成25年度までの5年間 管理委託料 475,000千円（各年度 95,000千円） 21年度の入館者数 61,699人					
鳥取二十世紀梨記念館管理運営事業費	(17,396,000) 17,396,000	(13,864,000) 13,864,000	(0) 0	(3,532,000) 3,532,000	() 内は前年度からの繰越で内数 鳥取二十世紀梨記念館の経年劣化に伴う不具合解消のための設備改修を行った。
区分 事業費(円) 事業内容					
	業務委託	13,864,000	映像システム等更新		
中部地区農産物生産流通基盤整備支援事業	3,826,000	3,826,000	0	0	中部農林局事業
目 計	(23,968,000) 462,029,000	(20,164,000) 423,620,600	(0) 29,266,000	(3,804,000) 9,142,400	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(農作物対策費) 生産振興推進事業	13,354,000	10,284,384	0	3,069,616	主要農作物種子の採種ほの生産指導、果実作況調査を行った。 果樹作況調査の設置状況
果樹の種類（品種） 設置年度 土壌 県設置分 全農とつとり設置分 調査園計					
なし (二十世紀梨) S 3 9 赤土 湯梨浜町 鳥取市 6園 黒土 大山町、鳥取 倉吉市、琴浦町					
かき (富有) S 4 2 赤土 園試（鳥取市） 4園 黒土 倉吉市 鳥取市、南部町					
ぶどう (巨峰) S 5 9 水田 鳥取市 3園 砂地 園試（北栄町） 琴浦町					
(主) 鳥獣被害総合対策事業	62,205,000	59,756,193	0	2,448,807	主な事業に関する調べに記載
(主) 有機・特別栽培農産物等総合支援事業	12,036,000	8,231,052	0	3,804,948	主な事業に関する調べに記載
(主) こだわりの米作り支援事業	2,613,000	883,176	0	1,729,824	主な事業に関する調べに記載
数量調整円滑化推進事業	27,590,000	25,362,119	0	2,227,881	平成16年度から始まった米政策改革に基づき、生産調整を円滑に推進するための指導及び地域水田農業推進協議会の生産調整事務に必要な経費の助成を行った。
事業主体 事業内容 事業費（円）					
県 米政策改革、米の生産調整のための指導 数量調整事務指導 1,336,586					
事業主体 事業内容 補助金（円）					
鳥取市水田農業推進協議会他19協議会 米政策改革の推進、米の生産調整の実施に係る業務 生産調整実施計画書の配布及び回収 実施計画書のとりまとめ 生産調整実施者との確認 24,025,533					

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
強い農業づくり 交付金	383,047,000	378,577,487	0	4,469,513	
高品質農産物の生産を図るための施設・機械の導入に対して助成を行った。					
事業主体	市町村	事業内容	事業費(円)	補助金(円)	備考
鳥取中央農業協同組合	倉吉市	集出荷貯蔵施設	401,772,000	191,320,000	
倉吉市	倉吉市	市町村付帯事務費	208,000	69,000	
鳥取西部農業協同組合	日吉津村	農産直売所	145,706,400	69,384,000	
鳥取県西部特別栽培農産物生産組合	境港市	集出荷貯蔵施設	80,535,000	38,000,000	
鳥取中央農業協同組合	倉吉市	農産直売所	117,193,650	55,806,000	
鳥取西部農業協同組合	大山町	集出荷貯蔵施設	30,240,000	14,400,000	
鳥取西部農業協同組合	日南町	集出荷貯蔵施設	12,600,000	6,000,000	
多里生産組合	日南町	コンバイン	6,352,500	3,000,000	
(主) 次世代鳥取梨产地育成事業	62,341,000	49,163,160	0	13,177,840	主な事業に関する調べに記載
(主) ブランド 「ザ・二十世紀梨」事業	6,000,000	1,661,831	0	4,338,169	主な事業に関する調べに記載
(主) 二十世紀梨ブランド化事業	9,250,000	8,978,738	0	271,262	主な事業に関する調べに記載
(主) 果樹経営安定緊急対策事業	79,000	9,661	0	69,339	主な事業に関する調べに記載
食のみやこ鳥取梨流通対策事業	15,000,000	13,510,488	0	1,489,512	梨の価格安定を図るため、国内外への安定的な出荷調整に係る経費の一部を補助した。
事業主体	事業内容	補助金(円)			
(社) 鳥取県果実生産出荷安定基金協会	(戦略的出荷調整支援対策) 出荷調整のため低温貯蔵庫に保管する場合の入出庫時の收支差の補てん (関東出荷数量確保対策) 価格安定及び受給調整のため関東市東市場へ出荷する場合の運賃補てん (輸出促進数量確保対策) 輸出のため低温貯蔵庫等に保管する場合の貯蔵経費及び検疫に伴う検査不合格時の出荷収支差等の補てん	13,510,488			

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果						
食のみやこ農産品育成支援事業	3,628,000	2,628,000	0	1,000,000	<p>鳥取県オリジナルの新品種等の生産技術を早期に確立し、新たな産地化を促進するため、園芸試験場及び鳥取大学で育成した新品種（系統）の栽培実証圃を県下に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梨：鳥取大学育成関連 5か所 ・ながいも（ねばりっこ）：4か所 						
二十世紀梨再生促進事業	500,000	366,000	0	134,000	<p>新規就農者の確保や研修のため、農協等の事業実施主体が果樹園を中間保有し、造成から幼木期（5年間）の管理を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> <th>補助金（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(局執行分) 鳥取西部農業協同組合</td> <td>果樹園管理</td> <td>366,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業主体	事業内容	補助金（円）	(局執行分) 鳥取西部農業協同組合	果樹園管理	366,000
事業主体	事業内容	補助金（円）									
(局執行分) 鳥取西部農業協同組合	果樹園管理	366,000									
果樹等経営安定資金利子助成事業	4,967,000	2,161,056	0	2,805,944	<p>果樹等の経営安定対策として、災害や価格低落等の際に再生産資金の借受に対する助成を行い、生産意欲の向上に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> <th>補助金（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県農業協同組合中央会</td> <td> (H18年度分) 霽害等の災害を受けた梨生産農家68名、柿生産農家1名に対して利子補給 (H19年度分) ナシ生産農家25名、ラッキョウ生産農家59名、ブドウ生産農家5名、果樹野菜生産農家19名に対して利子補給 (H20年度分) 市場価格の下落による生産農家123名に対して利子補給 (H21年度分) 雪害を受けた梨生産農家8名、市場価格の下落による梨生産農家79名に対して利子補給 </td> <td>2,161,056</td> </tr> </tbody> </table>	事業主体	事業内容	補助金（円）	鳥取県農業協同組合中央会	(H18年度分) 霽害等の災害を受けた梨生産農家68名、柿生産農家1名に対して利子補給 (H19年度分) ナシ生産農家25名、ラッキョウ生産農家59名、ブドウ生産農家5名、果樹野菜生産農家19名に対して利子補給 (H20年度分) 市場価格の下落による生産農家123名に対して利子補給 (H21年度分) 雪害を受けた梨生産農家8名、市場価格の下落による梨生産農家79名に対して利子補給	2,161,056
事業主体	事業内容	補助金（円）									
鳥取県農業協同組合中央会	(H18年度分) 霽害等の災害を受けた梨生産農家68名、柿生産農家1名に対して利子補給 (H19年度分) ナシ生産農家25名、ラッキョウ生産農家59名、ブドウ生産農家5名、果樹野菜生産農家19名に対して利子補給 (H20年度分) 市場価格の下落による生産農家123名に対して利子補給 (H21年度分) 雪害を受けた梨生産農家8名、市場価格の下落による梨生産農家79名に対して利子補給	2,161,056									
平成20年度雪害園芸施設等復旧対策事業	(89,632,000) 89,632,000	(37,971,000) 37,971,000	(0)	(51,661,000) 51,661,000	() 内は前年度からの繰越で内数 <p>平成20年度の大雪により全半壊した施設園芸ハウスや果樹棚、牛舎の早期復旧を図るため、復旧に要する経費の一部を補助した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> <th>補助金（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(局執行分) 農業協同組合他</td> <td>雪害を受けた園芸施設等の復旧</td> <td>37,971,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業主体	事業内容	補助金（円）	(局執行分) 農業協同組合他	雪害を受けた園芸施設等の復旧	37,971,000
事業主体	事業内容	補助金（円）									
(局執行分) 農業協同組合他	雪害を受けた園芸施設等の復旧	37,971,000									

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																																																						
(予備費) 日照不足・長雨等 異常気象緊急対策 事業	8,384,000	84,000	0	8,300,000	夏季の日照不足・長雨等の異常気象により農作物の病害が多発した地域について、 病害蔓延防止策として緊急防除に係る経費を助成した。																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業主体</th><th>事業内容</th><th>補助金(円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(局執行分) 果実生産部</td><td>鳥取市河原地区、佐治地区的梨の 黒斑病、黒星病の追加防除</td><td>84,000</td></tr> </tbody> </table>						事業主体	事業内容	補助金(円)	(局執行分) 果実生産部	鳥取市河原地区、佐治地区的梨の 黒斑病、黒星病の追加防除	84,000																																																
事業主体	事業内容	補助金(円)																																																									
(局執行分) 果実生産部	鳥取市河原地区、佐治地区的梨の 黒斑病、黒星病の追加防除	84,000																																																									
野菜価格安定対策 事業	15,841,000	13,688,183	0	2,152,817	価格変動の大きい野菜の生産を維持し、県民への安定供給を確保するため、生産者に 対し価格差補給交付金を交付した。																																																						
<p>(1) 指定野菜価格安定対策事業（国制度） (独)農畜産業振興機構が交付予約数量に基づき野菜生産出荷安定資金を造成する経費 に対し、(財)鳥取県野菜価格安定基金協会を経由して助成する。 重要野菜2品目、一般野菜6品目が該当している。 平成21年度は、資金造成済みであったため新たな助成は無かった。</p> <p>(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国制度） (財)鳥取県野菜価格安定基金協会が交付予約に基づき野菜生産出荷安定資金を造成する 経費に対し助成を行った。</p> <p>特定野菜8品目のうち4品目、指定野菜4品目のうち3品目が対象となった。</p>																																																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">業務区分</th><th rowspan="2">補助金額(円)</th><th rowspan="2">対象産地</th></tr> <tr> <th>対象野菜</th><th>対象期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">特定野菜</td><td>らっきょう (未調製のもの)</td><td>5~6月</td><td>3,125,600</td><td>鳥取市、北栄町</td></tr> <tr> <td>ブロッコリー</td><td>10~12月</td><td>3,881,542</td><td>倉吉市・北栄町・ 琴浦町・大山町</td></tr> <tr> <td>"</td><td>1~3月</td><td>3,089,141</td><td></td></tr> <tr> <td>ながいも以外の やまのいも</td><td>1~3月</td><td>197,883</td><td>北栄町</td></tr> <tr> <td>ちんげんさい</td><td>12~2月</td><td>909,510</td><td>倉吉市</td></tr> <tr> <td rowspan="5">指定野菜</td><td>夏秋トマト(ミニトマト)</td><td>7~9月</td><td>41,128</td><td>北栄町・琴浦町</td></tr> <tr> <td>"</td><td>10~11月</td><td>79,988</td><td></td></tr> <tr> <td>夏秋ピーマン</td><td>8~10月</td><td>1,040,137</td><td>日南町</td></tr> <tr> <td>秋冬はくさい</td><td>11~12月</td><td>81,900</td><td>伯耆町</td></tr> <tr> <td>"</td><td>1~3月</td><td>79,450</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">合 計</td><td>12,526,279</td><td></td></tr> </tbody> </table>					区分	業務区分		補助金額(円)	対象産地	対象野菜	対象期間	特定野菜	らっきょう (未調製のもの)	5~6月	3,125,600	鳥取市、北栄町	ブロッコリー	10~12月	3,881,542	倉吉市・北栄町・ 琴浦町・大山町	"	1~3月	3,089,141		ながいも以外の やまのいも	1~3月	197,883	北栄町	ちんげんさい	12~2月	909,510	倉吉市	指定野菜	夏秋トマト(ミニトマト)	7~9月	41,128	北栄町・琴浦町	"	10~11月	79,988		夏秋ピーマン	8~10月	1,040,137	日南町	秋冬はくさい	11~12月	81,900	伯耆町	"	1~3月	79,450		合 計			12,526,279	
区分	業務区分		補助金額(円)	対象産地																																																							
	対象野菜	対象期間																																																									
特定野菜	らっきょう (未調製のもの)	5~6月	3,125,600	鳥取市、北栄町																																																							
	ブロッコリー	10~12月	3,881,542	倉吉市・北栄町・ 琴浦町・大山町																																																							
	"	1~3月	3,089,141																																																								
	ながいも以外の やまのいも	1~3月	197,883	北栄町																																																							
	ちんげんさい	12~2月	909,510	倉吉市																																																							
指定野菜	夏秋トマト(ミニトマト)	7~9月	41,128	北栄町・琴浦町																																																							
	"	10~11月	79,988																																																								
	夏秋ピーマン	8~10月	1,040,137	日南町																																																							
	秋冬はくさい	11~12月	81,900	伯耆町																																																							
	"	1~3月	79,450																																																								
合 計			12,526,279																																																								
<p>(3) ブランド野菜価格安定対策事業（県制度） 指定野菜等の国の補助事業に要件的に満たないが、本県の立地条件を生かした特長ある ブランド野菜について、農業協同組合が生産者に交付する価格差補給金に要する経費に 対し、助成を行った。</p> <p>11品目のうち5品目が対象となった。</p>																																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th><th rowspan="2">対象野菜</th><th rowspan="2">対象期間</th><th>交付金交付実績 (円)</th><th rowspan="2">補助金額(円)</th></tr> <tr> <th>(円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏キャベツ</td><td>6~7月</td><td>125,535</td><td>62,767</td></tr> <tr> <td>夏秋きゅうり</td><td>7~9月</td><td>290,566</td><td>145,283</td></tr> <tr> <td>夏秋ピーマン</td><td>8~10月</td><td>11,541</td><td>5,770</td></tr> <tr> <td>夏秋トマト</td><td>10~11月</td><td>267,219</td><td>133,609</td></tr> <tr> <td>秋冬ブロッコリー</td><td>10~12月</td><td>1,628,950</td><td>814,475</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">合 計</td><td>2,323,811</td><td>1,161,904</td></tr> </tbody> </table>					業務区分	対象野菜	対象期間	交付金交付実績 (円)	補助金額(円)	(円)	夏キャベツ	6~7月	125,535	62,767	夏秋きゅうり	7~9月	290,566	145,283	夏秋ピーマン	8~10月	11,541	5,770	夏秋トマト	10~11月	267,219	133,609	秋冬ブロッコリー	10~12月	1,628,950	814,475	合 計			2,323,811	1,161,904																								
業務区分	対象野菜	対象期間	交付金交付実績 (円)	補助金額(円)																																																							
			(円)																																																								
夏キャベツ	6~7月	125,535	62,767																																																								
夏秋きゅうり	7~9月	290,566	145,283																																																								
夏秋ピーマン	8~10月	11,541	5,770																																																								
夏秋トマト	10~11月	267,219	133,609																																																								
秋冬ブロッコリー	10~12月	1,628,950	814,475																																																								
合 計			2,323,811	1,161,904																																																							

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																		
(主) 花き生産強化推進事業	5,703,000	3,151,264	0	2,551,736	主な事業に関する調べに記載																		
(主) 交配用みつばち価格高騰支援事業	2,744,000	2,667,000	0	77,000	主な事業に関する調べに記載																		
(主) 県内産交配用みつばち確保連携モデル事業（予備費）	662,000	630,000	0	32,000	主な事業に関する調べに記載																		
新規作物導入モデル事業（農林業緊急プロジェクト）	4,000,000	2,267,347	0	1,732,653	<p>新たな産地づくりと調整水田の解消を目指して、新規作物のモデル的生産と販売活動の実証を行う集落営農組織に対して、生産及び販路の開拓にかかる経費を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th><th>事業内容</th><th>補助率</th><th>補助金額(円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集落営農組織3集落 (鳥取市2、伯耆町1)</td><td>(1)新規作物の試作支援 (にんにく2集落、しょうが1集落) (2)販路開拓及び先進地調査にかかる経費</td><td>10/10 1/2以下</td><td>2,195,607</td></tr> </tbody> </table>	事業実施主体	事業内容	補助率	補助金額(円)	集落営農組織3集落 (鳥取市2、伯耆町1)	(1)新規作物の試作支援 (にんにく2集落、しょうが1集落) (2)販路開拓及び先進地調査にかかる経費	10/10 1/2以下	2,195,607										
事業実施主体	事業内容	補助率	補助金額(円)																				
集落営農組織3集落 (鳥取市2、伯耆町1)	(1)新規作物の試作支援 (にんにく2集落、しょうが1集落) (2)販路開拓及び先進地調査にかかる経費	10/10 1/2以下	2,195,607																				
肥料価格高騰緊急プロジェクト推進事業（生産コスト縮減展示ほ設置事業）	1,340,000	1,280,000	0	60,000	<p>肥料価格の高騰に対応して、農家の不安解消のため、効率的な施肥の実施、代替資材の活用等による肥料費削減の現地実証を行った。展示実証の結果をふまえて、各産地で施肥基準への反映されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作目</th><th>品目</th><th>展示圃設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作物</td><td>水稻</td><td>9</td></tr> <tr> <td>果樹</td><td>なし</td><td>16</td></tr> <tr> <td>野菜</td><td>白ねぎ、ブロッコリー すいか等（12品目）</td><td>35</td></tr> <tr> <td>花き</td><td>シンテンポウユリ</td><td>4</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>64</td></tr> </tbody> </table>	作目	品目	展示圃設置数	作物	水稻	9	果樹	なし	16	野菜	白ねぎ、ブロッコリー すいか等（12品目）	35	花き	シンテンポウユリ	4	合計		64
作目	品目	展示圃設置数																					
作物	水稻	9																					
果樹	なし	16																					
野菜	白ねぎ、ブロッコリー すいか等（12品目）	35																					
花き	シンテンポウユリ	4																					
合計		64																					

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
平成21年度雪害園芸施設等復旧対策事業	4,823,000	1,013,000	1,874,000	1,936,000	
平成21年度の大雪により全半壊した施設園芸ハウスの早期復旧を図るため、復旧に要する経費の一部を補助した。					
	事業実施主体	補助対象施設	補助率	補助金額(円)	備考
	農業者、生産組織、農業協同組合 (琴浦町)	施設園芸ハウス	1/3	848,000	翌年度繰越
	(日南町)			1,013,000	現年執行
(参考) 被害の状況					
	施設名	市町村	被害面積	棟数	品目等
	ビニールハウス	琴浦町	約14a	4棟	野菜(作付なし)
		日南町	約17a	12棟	トマト
西条柿日本一戦略推進事業	1,800,000	1,288,961	0	511,039	(八頭農林局事業)
八頭特産野菜育成事業	788,000	509,390	0	278,610	(八頭農林局事業)
三朝米ブランド化支援事業	191,000	191,000	0	0	(中部農林局事業)
鳥取県西部白ねぎ産地強化事業	578,000	577,750	0	250	(西部農林局事業)
日野郡の野菜・山菜特産化推進事業	1,328,000	1,312,895	0	15,105	(日野農林局事業)
日野郡のおいしい米レベルアップ事業	3,487,000	3,409,691	0	77,309	(日野農林局事業)
目 計	(89,632,000) 743,911,000	(37,971,000) 631,614,826	(0) 1,874,000	(51,661,000) 110,422,174	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(肥料植物防疫費)					
農薬適正使用推進事業	5,041,000	3,093,428		1,947,572	
1 ポジティブリスト対策事業（農薬の安全使用推進）					
① 農薬適正使用指導者を対象とし、農薬の適正使用を徹底するため研修会を開催。					
・2/23（中部総合事務所講堂 対象者は農薬適正使用指導者等85名）					
{ 埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所長 アリストライフサイエンス(株) 顧問 出光興産(株)アグリバイオ部事業部 担当課長					
2 輸出梨検疫対策事業					
検疫上の安全性を高め、輸出を促進するため、産地における防除指導・研修会を実施。					
・米国向け輸出なし検疫実施要領（検査補助員の委嘱及び配置）					
米国及び豪州向け輸出なし検査補助員講習会（5/28）					
生産地域検査（袋かけ直後、収穫期前）					
・台湾向け生果実検疫実施要領（選果技術員の登録と識別研修の実施）					
台湾向け生果実の選果技術員識別研修会（7/1）					
選果員研修会（東部8/18・中部8/19・西部8/19）					
3 マイナー作物等農薬登録推進事業（病害虫防除農薬環境リスク低減技術確立）					
産地の要望を取りまとめ、農薬登録に向けて関係機関との連絡調整を図った。					
・H18採択分（1剤）：登録申請					
・H19採択分（1剤）：登録申請 ガント粒剤（ラキヨウ）					
・H20採択分（2剤）：登録申請準備中 トップシンマーベース（漬物用スイカ）					
：継続試験中 ダイアジノン粒剤（未成熟ソラマメ）					
・H21採択分（2剤）：継続試験中：セビアーフロアブル（ラキヨウ）、フォース粒剤（ニンニク）					
平成15年3月の法改正。					
平成18年7月31日で経過措置終了（経過措置71組のうち55組登録済み（代替4剤含む））					
4 I P M普及推進事業（環境負荷の低減を図るため、化学農薬に頼らず様々な防除技術を組み合わせて病害虫の発生を抑制）					
生産者への情報提供に努め、関係機関との連絡調整を図った。					
5 東郷池シジミ安定出荷対策事業					
＜経緯＞					
・平成20年6月に大阪の市場で取去された東郷池産シジミから、一律基準を超える殺虫剤成分（ダイアジノン）が検出され、平成18年12月の一基準を超える除草剤成分（クミルロン）の検出時に統いて、2度目の出荷自粛を余儀なくされた。					
・県が東郷池流域での農薬の使用状況を踏まえて6農薬（ダイアジノン他5剤）を絞り、早急に農薬残留基準を設定するよう、国に対して要望したところ、早急な残留基準設定を促すための資料が必要とのこと。					
・果樹園で使用される農薬3剤（クロルピリホス、フェニトロチオン、クレスコシムメチル）について、県で東郷池の湖水・底質中の農薬濃度（H20.10～H21.9）及び東郷池流域の畑地などの農耕地からの農薬流出状況（H21.6～9月）の調査を実施。					
①東郷池環境実態調査の実施（平成20年10月から平成21年9月）					
②農耕地からの農薬流出状況調査の実施（平成21年6月から9月）					
③関係機関との情報交換及び連絡調整の実施					
（当初、県・町・農協・東郷湖漁協で構成される対策会議を予定していたが、個別対応）					

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果	
埋設農薬安全処理 対策事業	4,170,000	3,070,200	0	1,099,800	埋設農薬の将来にわたっての安全性を確保するため、埋設地点（18か所）の水質調査等環境調査を実施した。 (実施主体：県) 定期点検回数：年4回	
植物防疫総合対策 事業	10,142,000	8,420,307	1,481,000	240,693	病害虫防除所事業	
	1 病害虫防除所運営費（病害虫防除所） ① 病害虫の発生状況等の情報提供を行った。 【病害虫発生予察情報の発表】					
		区分	予報	注意報	特殊報	警報
		発表回数	11	6	1	0
	2 指定病害虫発生予察事業（病害虫防除所） 植物防疫法に定める指定有害動植物を対象として調査を実施した。 (対象作物 10作物 指定有害動植物数 38種類)					
	3 重要病害虫発生予察事業（病害虫防除所） ① 植物防疫法に定める指定有害動植物以外で、県内において特に問題となる病害虫について調査を実施した。 (対象作物 14作物 指定外有害動植物数 91種類) ② 主要病害虫の発生状況を把握するため、病害虫調査員及び発生状況調査係を設置し病害虫発生状況調査等を実施した。					
	4 ミバエ類等侵入警戒調査業務（病害虫防除所） チチュウカイミバエ、コドリンガ、火傷病及びスイカ果実汚斑細菌病の県内への侵入に備え、定期的に巡回調査を実施した。→発生なし					
目 計	19,353,000	14,583,935	1,481,000	3,288,065		
合 計	(113,600,000) 1,225,293,000	(58,135,000) 1,069,819,361	(0) 32,621,000	(55,465,000) 122,852,639		

9 予備費の充用調べ

(単位:円)

科 目 項 目 節	予算外の支出に充用したもの			充用した理由
	充 用 額	内 訳		
	執 行 額	執 行 残 額		
農業費 農作物対策費 負担金補助及び交付金	2,949,000	1,013,000	1,936,000	平成21年度雪害園芸施設復旧対策事業費
農業費 農作物対策費 負担金補助及び交付金	662,000	630,000	32,000	県内産交配用みつばち確保連携モデル事業
農業費 農作物対策費 負担金補助及び交付金	8,384,000	84,000	8,300,000	平成21年度日照不足・長雨等異常気象緊急対策事業
合 計	11,995,000	1,727,000	10,268,000	

(単位:円)

科 目 項 目 節	予算超過の支出に充用したもの			充用した理由
	充 用 額	内 訳		
	執 行 額	執 行 残 額		
	該当無し			
合 計				

10 繰越関係調べ

(1) 繼続費遞次繰越調べ

該当なし

(2) 繰越明許費調べ

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳			緑越理由
				既収入特定財源 国庫支出金	未収入特定財源 国庫支出金	一般財源	
農業総務費	どつとり花回廊施設管理費	30,553,000	22,262,000		7,500,000	14,762,000	平成22年度予算前倒しに伴う工事の年度内完成及び備品の年度内納品が困難であるため
農業総務費	どつとり花回廊施設改修費	13,682,000	7,004,000		7,004,000	0	工事の年度内完成が困難であるため
農作物対策費	平成21年度雪害園芸施設復旧対策事業費	1,874,000	1,874,000			1,874,000	融雪を待つて復旧工事開始となるため、年度内執行が困難であるため
肥料植物防疫費	植物防疫総合対策事業費	10,142,000	1,481,000		500,000	981,000	平成22年度予算前倒しに伴い、備品の年度内納品が困難であるため
合 計		56,251,000	32,621,000	0	15,004,000	17,617,000	

(3) 事故繰越調べ

該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
農林水産手数料	農業手数料	有機農産物認定手数料	11	24,000	264,000	有機加工食品の認定申請手数料
			0	19,000	0	有機加工食品小分けの認定申請手数料
			27	14,000	378,000	継続申請・調査手数料（有機農産物・有機加工食品ほか）
			6	12,000	72,000	継続申請・調査手数料（有機加工食品小分けほか）
	計（節）		44		714,000	
本府執行分計（目）			44		714,000	
出納機関執行分計（目）					0	
目計					714,000	
合計					714,000	

1.2 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		6	52,563	52,563	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	ヒツヒリ花回廊
	計(節)		6	52,563	52,563	0	0		
本庁執行分計(目)			6	52,563	52,563	0	0		
出納機関執行分計(目)				0	0	0	0		
合 計			52,563	52,563	0	0	0		

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
農林水産業手数料	農業手数料	有機農産物等認定手数料	44	714,000	714,000	0	0	鳥取県手数料徴収条例	有機農産物等認定業務推進事業
	計(節)		44	714,000	714,000	0	0		
本庁執行分計(目)				0	0	0	0		
出納機関執行分計(目)				0	0	0	0		
合 計			714,000	714,000	0	0	0		

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
財産売払收入	物品売払收入	物品売払收入	1	48,000	48,000	0	0		二十世紀梨記念館における刊行物販売代金
	計(節)		1	48,000	48,000	0	0		
本庁執行分計(目)			1	48,000	48,000	0	0		
出納機関執行分計(目)			246,702	246,702	0	0	0		東部・八頭・中部・西部日野県民局
合 計			294,702	294,702	0	0	0		

(5) 寄付金
該当なし

(6) 諸収入							(単位：円)		
目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雜入	雜入		2	70,500	70,500	0	0		有機農産物等生産行程管理者等講習会資料代
			1	18,000	18,000	0	0		農林水産省平成20年度花き産業振興総合調査に係る謝金
			1	174,942	174,942	0	0		中山間地域特産農作物等生産支援対策事業資金の返納
			1	2,260	2,260	0	0		不明通帳解約時の通帳残高
			1	7,350	7,350	0	0		平成20年度鳥取県二十世紀梨再生促進事業費補助金の返還
			1	18,000	18,000	0	0		農林水産省平成21年度花き産業振興総合調査に係る謝金
			24	13,463	13,463	0	0		非常勤職員雇用保険 本人負担分
	計(節)		31	304,515	304,515	0	0		
	本庁執行分計(目)		31	304,515	304,515	0	0		
	出納機関執行分計(目)			5,644	5,644	0	0		農業試験場、病害虫防除所
	合計		310,159	310,159	0	0	0		

13 税外収入未済額調べ

			過 年 度 分				現 年 度 分						
			収入未済額の調定年度内訳				調定額		収入額	未済額	収入未済額	計	
目	節	細節	前年度以前のうちの収入額	不納欠損額	収入額	未済額	A	B	C	D	E	未収理由	
行政財産 使用料	計 (節)	1,507	0	0	1,507	0	0	1,507	0	0	0	1,507 梨記念館 (債務者の破産による)	
本庁執行分計 (目)		1,507	0	0	1,507	0	0	1,507	0	0	0	1,507	
出納機関執行分計 (目)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
目 計		1,507	0	0	1,507	0	0	1,507	0	0	0	1,507	
雜入	計 (節)	8,856	0	0	8,856	0	0	8,856	0	0	0	8,856 梨記念館 (債務者の破産による)	
本庁執行分計 (目)		8,856	0	0	8,856	0	0	8,856	0	0	0	8,856	
出納機関執行分計 (目)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
目 計		8,856	0	0	8,856	0	0	8,856	0	0	0	8,856	
合 計		10,363	0	0	10,363	0	0	10,363	0	0	0	10,363	

14 未収金回収促進のための取り組み状況

収入科目			債権管理事務取扱要領の作成の有無	取り組み状況	取り組み効果
目	節	細節			
行政財産使用料	行政財産使用料		無	H21.8.7 破産管財人からの財団債権額確認依頼通知 H21.8.19 破産管財人へ回答「財団債権なし」 H21.10.25 破産管財人より破産廃止決定通知の写し送付	
雑入	雑入	電気料金	"		

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	議決	設定状況		当該事業の契約額等	執行(支出)状況		備考
			期間	限度額		設定年度の執行額 A	20年度までの執行額 A執行額	
平成18年度 果樹等経営安定資金利子補給	利子補給	平成18年3月	19年度から 21年度まで	3,078,000	円	61,003	955,385	94,779 0 1,050,164 1,111,167 利子補給率 1.60%
平成19年度 果樹等経営安定資金利子補給	利子補給	平成19年9月	20年度から 22年度まで	5,031,000	円	439,639	1,285,459	755,917 560,000 2,601,376 3,041,015 利子補給率 2.95%~ 3.05%
平成20年度 果樹等経営安定資金利子補給	利子補給	平成20年3月	21年度から 23年度まで	4,728,000	円	308,145	0	1,028,760 2,102,000 3,130,760 3,438,905 利子補給率 2.95%
平成21年度 果樹等経営安定資金利子補給	利子補給	平成21年3月	22年度から 24年度まで	4,584,000	円	281,600	0	0 4,584,000 4,584,000 4,865,600 利子補給率 3.05%
平成17年度 鳥取県立とつとり花回廊管理委託費	委託料	平成17年9月	18年度から 22年度まで	1,632,790,000	円	0	870,000,000	295,000,000 326,558,000 1,491,558,000 1,491,558,000 利子補給率 3.05%
平成20年度 鳥取県立鳥取二十世紀記念館管理委託費	委託料	平成20年5月	21年度から 25年度まで	481,830,000	円	0	0 95,000,000 385,464,000 480,464,000 480,464,000 利子補給率 3.05%	
平成20年度 農林業緊急プロジエクト新規作物導入モデル事業費	補助金	平成20年11月	21年度から 22年度まで	6,000,000	円	0	0 2,267,347 1,200,000 3,467,347 3,467,347 利子補給率 3.05%	
合計				2,138,041,000	円	1,930,000,000	1,090,387 872,240,844 394,146,803 720,468,000 1,986,855,647 1,987,946,034	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

予算科目	予算額	区分	負担金の名称	支 出 先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 綱等を含む。)	備 考
農作物対策費	100,000	単票	財団法人日本花 普及センター賛 助会員負担金	財団法人日本花 普及センター	定額	21.7.27	90,000	財団法人日本花 普及センター定款	
本庁執行分計							90,000		
出納機関執行分計							0		
目 計							90,000		
合 計							90,000		

(2) 補助金

予算科目 (農作物対策費)

① 国補分 (単位:円)

補助金等の名称	交付先	補助対象経費 間接	実施計画承認 又は内示年月日		着手年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考
			交付申請 年月日	完了年月日			概算払 精算払 の別	支出年月日	
事業の内容			交付決定 年月日	実績報告 年月日	検査・現地 調査年月日				
強い農業づくり交付金									
直充施設外									
県内産みつばち確保運営 モデル事業	全国農業協同組合鳥取 県連合会	1,260,000 (補助率:1/2) 630,000	21.5.14 21.6.5 21.6.12	21.6.5 21.6.25	精算払 21.7.16 377,979,000	630,000	地域活性化・経済 危機対策臨時交付 金充当 630,000円		
県産材を使つた交配用 みつばちの巣箱									
本庁執行分計								378,609,000	
出納機関執行分計								0	
国補分計								378,609,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものとの当初の年月日である。 2 型年度縦越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。								

(2) 補助金

予算科目 (農業経務費)

② 単 県 分

補助金等の名称		補助対象経費		実施計画承認 又は内示年月日		着手年月日		額の確定 年月日		支出の状況		備考
事業の内容	交付先	間接	補助率及び 補助金額	交付申請 年月日	完了年月日	検査 年月日	精算払 の別	支逐年月日	金 額			
				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日						
本庁執行分計												
出納機関執行分計												
単 県 分 計												
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るもののが当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。											

予算科目 (農作物対策費)

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 事業の内容	交付先 (平成18年度) 米政策改革、米の生産調整のための事務経費	補助対象経費 間接 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日 交付申請 年月日		着手年月日 完了年月日 交付決定 年月日		額の確定 年月日 検査年月日 実績報告 年月日		支出の状況 精算払 支逐年月日 調査年月日	
			着手年月日	年月日	精算払 の別	年月日	金額			
鳥取県数量調整円滑化推進事業費補助金 (平成18年度) 米政策改革、米の生産調整のための事務経費	鳥取市水田農業推進協議会外19協議会	24,025,533 (補助率:10/10) 24,025,533	24,025,533 21.4.1外 21.4.24	22.5.10 21.4.1外 22.4.7外	概算払 精算払	21.5.15 22.5.17	25,491,000 △ 1,465,467			
二だわりの米づくり支援事業 (平成20年度) 新品种「きぬむすめ」の作付拡大と栽培技術普及を図る経費を一部助成	鳥取県産米改良協会	500,000 (補助率:1/2) 250,000	500,000 21.5.12	22.4.14 22.3.31	精算払	22.5.12	250,000 新規			
二だわりの米づくり支援事業 (平成20年度) 消費者等に新品种「きぬむすめ」をPRし、市場評価を高める経費を一部助成	全農鳥取県本部	338,630 (補助率:1/2) 169,315	338,630 21.11.10 21.11.24	22.4.1 22.3.31 22.4.19	精算払	22.5.6 22.5.17	169,315 新規			

(単位：円)

補助金等の名称	交付先 間接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日		着手年月日	額の確定 年月日		支出の状況		備考
			交付申請 年月日	完了年月日		検査 年月日	概算払 精算払 の別	支逐年月日	金額	
事業の内容			交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日					
食のみやこ鳥取梨流通 対策事業費補助金 (平成21年度) 価格安定を図るため 需給調整を行う経費 の一部を助成	(社)鳥取県 果実生産出荷 安定基金協会	27,020,977 (補助率：1/2) 13,510,488	21.8.21 21.8.26	22.3.10	概算払	21.12.21	15,000,000			新規
果樹等経営安定資金 利子助成事業費補助 金(平成14年度) 災害または価格低落 時の経営安定資金へ の利子助成	鳥取県農業 協同組合 中央会	6,483,698 (補助率：1/3) 2,161,056	21.9.3 21.6.4外 21.6.15外 21.6.30外	22.2.8 22.3.4 22.4.12 22.4.15	精算払	22.3.25	△ 1,489,512			
次世代梨产地育成事業費 補助金 (平成20年度) 県オリジナル品種のPR 活動を支援	全国農業協同 組合連合会 鳥取県本部	4,006,701 (補助率：1/2) 1,800,000	22.3.31	22.4.7	精算払	22.4.20	2,161,056			
果樹経営安定緊急対策事業 費補助金 (平成21年度) 果樹経営の安定化に取り 組む活動を支援	鳥取県農業 協同組合 中央会	19,322 (補助率：1/2) 9,661	21.8.6 21.12.25	22.3.25 22.3.31	精算払	22.4.16 22.4.20	1,800,000 9,661			新規

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	補助対象経費 間接	実施計画承認 又は内示年月日		着手年月日	額の確定 年月日		支出の状況		備考
			交付申請 年月日	完了年月日		検査 年月日	概算払 精算払 の別	支逐年月日	金額	
花のまつり補助金 (平成17年度)	鳥取県花き 振興協議会	555,901				21.12.4	精算払	21.12.14	185,300	
イベント開催経費 助成		(補助率：1/3以内) 185,300	21.8.17							
特定野菜等供給産地 育成価格差補給事業 費補助金(昭和52年度)	(財)鳥取県 野菜価格安定 基金協会	25,052,591	21.6.17			22.4.9	概算払	21.7.10	12,526,279	
特定野菜等供給産地 の育成価格差補給事業		(補助率：1/3、1/4) 12,526,279	21.6.19							
ブランド野菜価格安 定対策事業費補助金 (平成4年度)	(財)鳥取県 野菜価格安定 基金協会	2,323,811	21.6.24、30 (補助率：1/2以内) 1,161,904	21.7.16 21.10.28		22.4.9 22.4.1	概算払	21.11.20 22.1.22 22.2.1 22.3.1	62,767 145,283 5,770 948,084	新規
「ひとつりの花」魅力体験 事業費補助金 (平成21年度)	鳥取県花き 振興協議会	267,000				22.4.12	精算払	22.4.14	133,500	
県内の児童・生徒を対象と した県産花きによる体験学 習に係る材料費を補助		(補助率：1/2) 133,500	21.6.18							
			21.6.22	22.4.5	22.4.7					

(単位：円)

補助金等の名称 事業の内容	交付先 間接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日		着手年月日 完了年月日	額の確定 検査 年月日		支出の状況 精算払 支逐年月日 の別		備考
			交付申請 年月日	交付決定 年月日		年月日	精算払 審査・現地 調査年月日	年月日		
交配用みつばち価格高騰 支援事業費補助金	JA鳥取中央 JA鳥取西部	8,004,460 (補助率：1/3)	21.7.27		21.9.11	精算払 21.9.18	21.9.18	2,543,000 124,000	新規 地域活性化・生活対策 臨時基金充当 2,667,000円	
急速高騰した交配用 みつばちの価格差の支援		2,667,000	21.8.11	21.8.25 31	21.9.3					
本庁執行分計									58,600,036	
出納機関執行分計									122,899,387	東部、八頭、中部、 西部、日野農林局
単県分計									181,499,423	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものとの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間、継続事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

(2-2) 準助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	予定価格	当初 契約		入札等 年月日 (契約保證金納 付等年月日)	完了 年月日 (契約形態 履行検査 年月日)	支出の状況			備考	
					契約年月日 (最終)	契約額 (最終)			支 出 年 月 日	金 額			
農業総務費	単県	とつとり花回廊 管理運営委託費	(財)鳥取県銀 光事業団	1,632,790,000	(18.3.23)	1,455,000,000	18.4.1 ~ 23.3.31	17.12.16 (議決日)	22.3.31	21.4.17 21.7.17 21.10.15 22.1.19	77,500,000 72,500,000 72,500,000 72,500,000	指定管理者へ の委託料	
農業総務費	単県	鳥取二十世紀梨 記念館管理運営 委託費	(財)鳥取県銀 光事業団	481,830,000	(21.2.26)	475,000,000	21.4.1 ~ 26.3.31	20.12.18 (議決日)	22.3.31	21.4.17 21.7.17 21.10.15 22.1.19	23,750,000 23,750,000 23,750,000 23,750,000	指定管理者へ の委託料	
農業総務費	単県	とつとり花回廊 周辺水質調査業 務	(財)鳥取県保 健事業団	3,539,000	(22.2.3)	3,255,000	22.2.3 ~ 22.3.24	22.1.27 (免除)	22.3.23	精	22.4.27	2,961,000	
農業総務費	国補	鳥取二十世紀梨 記念館映像シス テム等更新業務	(株)丹青社	13,697,572	(21.3.27)、 13,600,000	21.3.27 ~ 21.11.30	21.3.25 (免除)	21.11.30	精	22.3.25			
予定価格が20万 円未満のもの													更新対象の映像 システム等に係 るソフトウェア の著作権を有し ているため。
本庁執行分計												406,825,000	
出納機関執行分計													
目 計												406,825,000	

(単位：円)

予算科目 (目)	国備 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等			支出の状況		
				予定価格	契約年月日 (最終)	契約期 間	年月日 (契約保証金納付等年月日)	年月日 (契約保証金納付等年月日)	支出し年月日	金額	備考	
		鳥取県有機農産物等の認証に係る業務	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター 食品開発研究所 所長	205,000	(21.4.10) 単価契約 (1)有機加工食品 の認定検査 16,500円/件/人	21.4.10 ~ 22.3.31	(免除)	21.12.25	22.2.1	10,815	(内訳) (1)有機農産物 加工酒類 の再証明 調査(1件) 単価:10,300円 消費税515円	
農作物対策費	単県				(2)有機加工食品 の再認定調査 10,300円/件/人			22.3.10	22.4.1	31,153	(内訳) (2) ①有機農産物 加工酒類の再 証明調査(1件) 単価:10,300円 消費税515円 ②有機加工食品 認定検査(1件) 単価:16,500円 旅費:2,870円 消費税988円 ①+②= 31,153円	

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初 契約		入札等 年月日 (契約年月日) 契約額 (最終)	支 出 年月日 区分	支出の状況		備 考
				予定価格 変更	契約額 (最終)			金額		
農作物対策費 単県	犬の養成訓練試験に係る業務委託	アライグマ探索実験大訓練所	宮本愛犬訓練所	380,000	(21.5.22) 380,000	21.5.25 ~ 22.1.22 (免除)	22.3.5 精算	380,000		
農作物対策費 単県	食のみやこ農産品育成支援事業 (生産技術対策)	農業法人鳥取大学	2,500,000	(21.7.27) 2,500,000	21.7.27 ~ 22.3.31 (免除)	22.3.17 精算	22.3.31 前払	2,500,000	学術的要素が 強い業務であるため	
農作物対策費 単県	JR新幹線搭載誌「ひとつとき」への梨新品種「新甘泉」ピールアール雑誌広告掲載	(株)ジェイアイマル西日本コミュニケーションズ	1,344,000	(21.5.21) 1,344,000	21.7.20 ~ 21.8.20 (免除)	21.8.20 精算	21.8.10 前払	2,500,000		
農作物対策費 単県	JR新大阪駅での梨新品種PRがスター発出業務	(株)ジェイアイマル西日本コミュニケーションズ	430,000	(21.8.6) 430,000	21.8.17 ~ 21.9.6 (免除)	21.8.21 精算	21.9.2 前払	1,344,000		
農作物対策費 単県	平成21年度有機検査技術講習会(加工コース)業務	特定非営利活動法人日本才一方ニック検査員協会理事長	593,395	(21.5.11) 593,395	21.6.7 ~ 21.6.10 (免除)	21.6.24 精算	21.10.7 精算	430,000		
農作物対策費 単県	韓国江原道「親環境農業調査」に係る旅行代理業務	近畿日本ツーリスト株式会社鳥取営業所長	555,420	(21.8.17) 555,420	21.8.17 ~ 21.9.6 (免除)	21.9.25 精算	21.10.2 精算	555,420	機JAS検査員講習会を行なう国内唯一の組織であるため。	
農作物対策費 単県							21.9.25 精算			地東活性化・生活対策臨時基金充當 555,000円

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	支出の状況				備 考			
				当初 予定価格		契約 (契約年月日) 変更 (契約年月日)		入札等 年月日 (契約保証金納 期 (最終))		支出 区分	
				契約額	年月日	契約額	年月日	完了 年月日	支出 年月日	金額	
農作物対策費	単県	メディアミック スによる有機・ 特設PR広告制作 業務委託	株式会社シセイ 堂デザイン 代表取締役	700,000	(21.9.11) 698,250	21.9.11 ~ 21.10.5	21.9.4 (免除)	21.10.5	21.10.19	698,250	
農作物対策費	単県	花き生産強化推 進事業（「どつ とりの花」PR 事業）	総合商社A.T.C. 秀NOW	749,700	(21.7.29) 651,000	21.7.29 ~ 22.3.10	21.7.17 (免除)	22.3.10	精算	22.3.19	651,000
予定価格が20万 円未満のもの											
本庁執行分計											
出納勘定執行分計											
目 計											

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約				支出の状況			
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契 約 期 間	入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	支 出 年月日 区分	支 出 年月日 履行検査 年月日	金 額	備 考
				変更 (最終)	(契約年月日) 契約額	契 約 期 間	(契約保証金納 付等年月日)				
		理詮農業水質検査 ・分析業務	(株)日本総合 化学山陰支所	3,800,000	(22.2.3) 3,427,200	22.2.3 ～ 22.3.25	22.1.27 (免除)	22.3.25	精	22.4.7 3,070,200	
予定価格が20万 円未満のもの					(22.3.15) 3,070,200	同上	制限付	22.3.26			
本庁執行分計											3,070,200
出納機関執行分計											0
目 計											3,070,200
合 計											417,089,233

(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）
該当なし

(単位：円)

予算科目 (目)	工事名 国補 単県 の別	当初契約			入札年月日 (起工年月日) 契約保証金 (契約年月日) 納付等年月日)			支出状況			実地 完成 年月日 検査 年月日	変更 (解除) 理由 内容	備 考
		設計額 変更 設計額		契約額 契約 額	工期 (最終)	請負人		年月日 支 出 区 分	金 額				
		(変更年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工期	契約形態								
農業総務費	国補 とり花回廊 ワード一ム景観照明設備改修工事	()	()	()	()				6,300,000				総務課に配当替 地域活性化・生 活対策臨時交付 金充当 4,929,000円
本庁執行分計									6,300,000				
出納機関執行分計									6,669,600				西部総合事務所 農林局
目 計									12,969,600				
合 計									12,969,600				

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）

該當無し

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

行政 普通財 産の 区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末						本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 未 面 積 (m ²)	価額 (円)	備 考
			面 積 (m ²)	価額 (円)	増 減 別	異動日	面 積 (m ²)	価額 (円)	増 減 別	異動日	面 積 (m ²)	価額 (円)	増 減 別	異動日			
行政 財 産	とつとり花回廊	南部町鶴田字桑垣 87外340筆	790,249.66		増										790,249.66		
" 小野鶴田連絡道	南部町鶴田字細田 87外82筆	16,743.43		増											16,743.43	(ひとつとり花回廊 関連道路)	
鳥取二十世紀梨記念館	倉吉市駄経寺町198—4	4,301.00		増											4,301.00		
計			811,294.09					0.00							811,294.09		
普通 財 産					増										0.00		
計				0.00	減										0.00		
合計			811,294.09					0.00							811,294.09		

イ 建物

(平成22年3月31日現在)

行政 普 通財 産の 区分 行	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末			本 年 度 異動 状 況			本 年 度 末			備 考
			面 積 (m ²)	価 銭 (円)	増 減 別	異動日	面 積 (m ²)	価 銭 (円)	増 減 額 (円)	登 記 年月日	面 積 (m ²)	
行政 財 産	とつとり花回廊 鳥取二十世紀梨記 館	南部町鶴田110 倉吉市駄経寺町198-4	10,349.82 4,929.47	増 減 増 減						10,349.82 4,929.47		
	計		15,279.29							15,279.29		
	普通 財產											
	計											
	合計		15,279.29						0.00	15,279.29		

ウ 山林 該当なし
 エ 不動産売却等 該当なし
 オ 財産の交換 該当なし
 ハ 動産 該当なし
 キ 物権 該当なし
 ク 無体財産権 該当なし
 ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利

区分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		(数量、金額) 円	法人名	備考
		増	減			
出元金	15,000,000			15,000,000	財団法人鳥取県野菜価格安定基金協会	
出資金	7,500,000			7,500,000	社団法人鳥取県果美生産出荷安定基金協会	
合計	22,500,000			22,500,000		

(2) 金券類の受払状況

種別	前年度末	本年度中		本年度末 円	備考
		購入額 円	使用額 円		
郵便切手類	0	16,900	16,900	0	
印紙類	0	136,600	136,600	0	JAS登録認定機関登録更新申請手数料、ひとつり花回廊標準登録更新手数料
証紙類	0			0	
合計	0	153,500	153,500	0	

(3) 基本金 該当なし

(4) 債権

債権の名称	前年度末	本年度中			本年度末 円	備考
		増 件数	金額 円	減 件数	金額 円	
行政財産使用料	1 30,000	2	7,440		7,500	3 29,940
財産賃付	0	0		0	0	0
合計	1 30,000	2	7,440	0	7,500	3 29,940

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	付(使用許可)期間	賃付(使用許可)単価・年額	本年度賃付(使用)料(円)	賃付(使用許可)先住氏名	備考
地域物産販売所	どつとり花回廊	405.88m ²	21.3.31	11.4.1	21.4.1~	月額・年額	42,766	42,766	南部町天万558	
郵便ポスト	"	0.26m ²	21.3.31	11.4.5	21.4.1~	月額・年額	100	100	米子市弥生町10	郵便事業(株)米子支店
太陽光発電の広告宣伝研究設備の設置	"	49.5m ²	21.3.31	15.3.24	21.4.1~	月額・年額	337	337	米子市加茂町2-51	中国電力(株)米子営業所
配電線施設	单独柱 支線1	21.3.31	16.8.4	26.3.31	21.4.1~	月額・年額	360	360	"	
どつとり花回廊職員駐車場	"	1,058m ²	21.3.31	19.3.29	21.4.1~	月額・年額	22,331	22,331	鳥取市栄町606	まるもビル5F
地籍図根三角点	"	0.48m ²	21.11.11	21.11.11	21.11.11~	月額・年額	金額免除	0	0	(財)鳥取県観光事業団
計									43,563	
普通財産								0	0	
計								0	0	
合計									43,563	

イ 建物

行政普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用許可)		賃付(使用許可)先	備考
							単価	本年度賃付(使用)料(円)		
P H Sアンテナ	とつとり花回廊	"	1.04m ²	21.3.31	12.1.17	21.4.1~26.3.31	月額・年額	1,500	東京都港区虎ノ門3-4-7 (株) ウイルコム	
携帯電話一ピース室 内電気設備	"	"	1.8m ²	20.6.13	20.6.13	20.6.13~25.3.31	月額・年額	7,500	広島市中区大手町4-1-8 (株) イ・ケイ・ド・エ中国	20.7.7~ (株) イ・ケイ・ド・エ
計										
普通財産								9,000		
計										
合計										9,000

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
温室用ベンチ	1	—	18.4.1~ 23.3.31	無償	0	鳥取市栄町606 まるもビル	南部町鶴田110	七つとり花回廊の 運営	
温室用力テン	1	—	"	"	0	(財) 鳥取県観光事業団	"	"	
高所作業台	1	アルミニ合金製電動式	"	"	0	"	"	"	
トラクター	1	クボタ GT-19BS MAJ RF1	"	"	0	"	"	"	
業務用無線装置	1	固定型無線装置1、携帯 無線装置1（充電器、 ベルトクリップ付き）	"	"	0	"	"	"	
ハイビジョンビデオ フレッカ-	1	HWP-1006台	"	"	0	"	"	"	
スリートオーナン	1	ハバードネスタット	"	"	0	"	"	"	
除雪機 (中型)	2	ホーチキススノーフレイク- HS3512ZJ	"	"	0	"	"	"	
普通自動車	1	マツダ ホンコフレンディ	"	"	0	"	"	"	
絵画	1	海老原昭治作「花燐 々」油彩20号	"	"	0	"	"	"	
北館映像ソフト（大 山セフィルムの森）	1	レーナーディスク 3面用	"	"	0	"	"	"	
園内案内看板	1	西館誘導・入口	"	"	0	"	"	"	
園内誘導サイン	1	ジョヨフ・システム誘導及 び入退園口	"	"	0	"	"	"	
七つとり花回廊 紹介ビデオ	1	VHSビデオテープ	"	"	0	"	"	"	
グラフィックバル	1	1.15×0.83 内照式	"	"	0	"	"	"	
蒸気土壤消毒 装置	1	(株) 丸文製作所SB- 300PS型	"	"	0	"	"	"	
マイクロ風力 発電装置	2	ワиндファーラー EWF-400	"	"	0	"	"	"	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料			
アイスマーカー	1	サンヨー SIM-C8 03WTE-FB	18. 4. 1~ 23. 3. 31	無償	0	鳥取市栄町606 まるもビル5F (財) 鳥取県観光事業団	南部町鶴田110花回廊での喫茶店営業 [使用者: (株) 鳥取砂丘大山観光]	
エンタラント コルトシース	1	1910×1660	"	"	"	"	"	"
コンビオーブン	1	カセッソ SSC-10SB	"	"	0	"	"	
コーヒーメーカー	1	FIMGT-221	"	"	0	"	"	
小型四輪貨物 自動車	1	日産エキスパート	19. 9. 5~ 23. 3. 31	"	0	"	"	
受付カウンター	1	W3000×D700×H900	21. 4. 1~ 26. 3. 31	"	0	"	"	
三眼光学頭微鏡	1	オリバ BX50-MD03 デイズナジョン	"	"	0	"	"	鳥取三十二世紀梨 記念館の運営
プロジェクター	1	松下電器産業 TH-DW7000	"	"	0	"	"	
合計					0			

2.1 借受不動産明細調べ

該当なし

2.2 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

2.3 自動車(二輪を除く)の管理状況

該当なし

2.4 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日		耐用年数	取得価格 円	不用途 理	不 ^用 する 由 理	売 却 の別	売 却 方法 業 却 理 由	処 年 月 日	売 却 額 ・ 処 分 費 用 円	備考	
		保 管 換 年 月 日	取 得 年 月 日										
高速揚返機 NB-5型	1	\$48. 5. 20		15	2, 600, 000	H21. 8. 19	機関停止により使用目的がなったため	業却	特殊な機械であるため、他用途への転用や売却先が見込めない	H22. 1. 29	—	一 米子蚕業分工事に併せて(財源確保室での実施)執行	
単列6型GT2型 繭検定用自動保糸機	1	\$49. 2. 28		15	8, 377, 330	H21. 8. 19				H22. 1. 29	—		
煮繭機 N07010	1	\$45. 11. 30		15	3, 000, 000	H21. 8. 19		業却		H22. 1. 29	—		
検定供用繭乾燥機 大和式一齊交互氣流 一段バッチ式乾繭機 Y1D-9	1	\$62. 6. 12		15	7, 500, 000	H21. 8. 19		業却		H22. 1. 29	—		
合計	4											0	

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
リースの 軽自動車	1	396,220 円	農林技師	21.8.28 午後2時5分	東伯郡湯梨浜町大字野方地内	職員が公務のため、軽乗用自動車を運転中、運転操作を誤つて道路脇斜面に衝突及び横転し、同車両が破損したも	21.8.28	故意又は重大な過失 はなかつたものと判 断し、地方自治法 (昭和22年法律第 67号) 第243条 の2の規定に該当し ないものとして認め られた。
合計								

27 賃付金等状況調べ

- (1) 総括表
該当なし
- (2) 償還状況
該当なし

28 意見、要望等

- (1) 業務に関する意見・要望等
特になし
- (2) 監査委員事務局に対する要望等
特になし